

KGA GOLFER'S NEWS



関東倶楽部対抗
優勝
東千葉
カントリークラブ

関東倶楽部対抗特集号



関東女子
倶楽部対抗
優勝
鹿沼
カントリー倶楽部

別冊
付録

保存
版

2016年度 関東倶楽部対抗
2016年度 関東女子倶楽部対抗

出場全倶楽部 競技成績

データで読む
強豪チームの秘密

女子の場合は、スポーツ根性ドラマ的な結びつきは似合わないかもしれない。しかし、かつてバレーボールの「東洋の魔女」も、サッカーの「なでしこジャパン」も、指導者次第で世界に羽ばたく強豪になった。

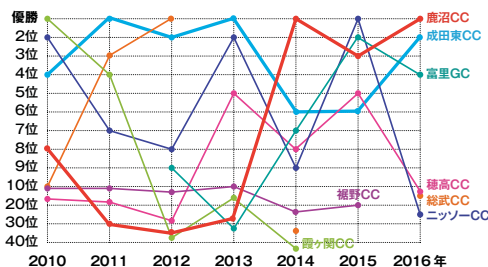
また倶楽部内での代表選手の選考方法も、両チームが実力主義なのは共通している。男子の強豪、袖ヶ浦CCは阪田哲男選手というカリスマ・キャプテンの指導力で強くなった。東千葉CCは、かつて大蔵監督が基礎を築いたことで黄金時代が始まっている。

ゴルフの団体戦である関東女子倶楽部対抗では鹿沼CCと成田東CCが、7年目に1歩抜け出したようだ(DATA①)。両チームも予選競技でベストスコア賞に輝くようなスタープレーヤーはいない(DATA②)。逆に大叩きしそうな不安定な選手もいない(DATA③)。

ゴルフに限らずスポーツ競技は「2強」なり「ビッグ3」の、競い合いが球趣を高める。良きライバル同士が刺激しあつてこそ、全体のレベルも上がるのだろう。

関東女子倶楽部対抗
7年間のデータを分析

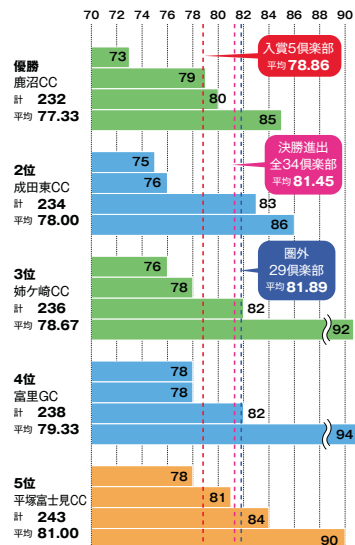
DATA① 7年連続で決勝進出は4倶楽部のみ



◀ 鹿沼CCと成田東CCの2強時代が、決勝進出が年々厳しさを増す。静岡会場予選を6回連続突破していた榑野CCが本年度は敗退。総武CC、霞ヶ関CCも苦戦中。成田東CCの安定度は抜群だが、上昇気配の富里GCや、安定した実力の榑高CCにも注目。今年のニッソーCCの不本意な成績は、やはり台風による変則日程の影響だろう。

それに比べたら「関東の女王」の座は、どの倶楽部にとっても夢ではない。ゴルフ大好きな会員が集まつて、一人が平均1ラウンドで4ストローク縮めれば、関東女子倶楽部対抗のビッグタイトルを獲得できる。

DATA② 入賞倶楽部は70台のハイレベル



上位3人の集計 最優秀選手賞・鈴木郁子(鹿沼CC) 73

DATA③ 各倶楽部、絶対的なエースは少ない

ベストスコア賞の獲得回数(同一年で複数受賞あり)

会場	4回獲得
新潟会場	紫雲GC
長野会場	榑高CC
山梨会場	都留CC
群馬会場	伊香保国際CC
栃木会場	東松苑GC
茨城会場	江戸崎CC
埼玉会場	霞ヶ関CC
千葉第1会場	東京湾CC
千葉第2会場	八王子CC
東京会場	八王子CC
神奈川会場	八王子CC
静岡会場	ギャツビイGC

◀ ベストスコア賞を獲得したのは江戸崎CCの香澤良子選手と、ギャツビイGCの松尾律子選手の3回が最多。榑高CCの小林ゆたか選手は2回で、全体には特定の選手に偏っていない。個人戦ではないので、やはりチームの平均的な総合力が決め手だ。決勝競技の最優秀選手賞は2年連続で優勝倶楽部が輩出している。

◀ チーム4人の上位3人を集計。入賞倶楽部の平均ストロークは80を切るハイレベルだ。スコアもさることながら「乗り」という心理的な勢いも、チーム全体をレベルアップさせる。各倶楽部の作戦として、メンタルに強いエース級の選手が先鋒を務めることが多い。



CONTENTS

関東倶楽部対抗特集号

1 DATA FILE

データで読む強豪チームの秘密

決勝競技

2 関東倶楽部対抗(袖ヶ浦カンツリークラブ・袖ヶ浦コース)

ブロック大会

6 第1ブロック(藤岡ゴルフクラブ・東コース)

8 第2ブロック

(三井の森科ゴルフ倶楽部・からまつ・あかまつコース)

10 第3ブロック(相模湖カントリークラブ・桜・百合コース)

12 第4ブロック(日光カントリー倶楽部)

14 第5ブロック(茨城ゴルフ倶楽部・西コース)

予選競技

16 新潟第1会場(紫雲ゴルフ倶楽部・飯豊コース)

18 新潟第2会場(フォレストカントリー倶楽部・東コース)

20 長野会場(長野国際カントリークラブ・黒姫・城山コース)

22 山梨会場(甲斐ヒルズカントリー倶楽部)

24 群馬第1会場(甘楽カントリークラブ)

26 群馬第2会場(桐生カントリークラブ)

28 栃木第1会場(東松苑ゴルフ倶楽部)

30 栃木第2会場(那須ゴルフ倶楽部)

32 栃木第3会場(宇都宮カントリークラブ・北・中コース)

34 茨城第1会場(グランドスラムカントリークラブ・東・中コース)

36 茨城第2会場(茨城パシフィックカントリー倶楽部)

38 埼玉第1会場(武蔵松山カントリークラブ)

40 埼玉第2会場(高麗川カントリークラブ)

42 千葉第1会場(ザ・カントリークラブ・ジャパン)

44 千葉第2会場(立野クラシック・ゴルフ倶楽部)

46 千葉第3会場(紫カントリークラブすみれコース)

48 東京会場(八王子カントリークラブ)

50 神奈川会場(大厚木カントリークラブ・本コース・東・西コース)

52 静岡会場(浜松シーサイドゴルフクラブ)

2016年9月30日発行

関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

決勝競技

54 関東女子倶楽部対抗

(平塚富士見カントリークラブ・平塚コース)

予選競技

58 新潟会場(越後ゴルフ倶楽部)

60 長野会場(豊科カントリー倶楽部)

62 山梨会場(河口湖カントリークラブ・西・東コース)

64 群馬会場(レーサムゴルフ&スパリゾート)

66 栃木会場(那須小川ゴルフクラブ)

68 茨城会場(江戸崎カントリー倶楽部・東コース)

70 埼玉会場(川越カントリークラブ・中・西コース)

72 千葉第1会場(総武カントリークラブ・総武コース・西・中コース)

74 千葉第2会場(鶴舞カントリー倶楽部・西コース)

76 東京会場(多摩カントリークラブ)

78 神奈川会場(箱根カントリー倶楽部)

80 静岡会場(浜松シーサイドゴルフクラブ)

82 トビックス

84 新規加盟倶楽部のご紹介

85 from KGA

編集／関東ゴルフ連盟広報委員会
統括／塚越克一(KGA広報副委員長)
撮影／増田 俊(KGA広報委員)
大竹 茂(KGA広報委員)
久保田昌幸(KGA広報委員)
取材／本條 強(KGA広報委員)
福島 靖(KGA広報委員会参与)

関東女子倶楽部対抗(平塚富士見カントリークラブ・平塚コース)

保存版 別冊付録

2016年度関東倶楽部対抗
2016年度関東女子倶楽部対抗
出場全倶楽部 競技成績



勝技 決競

袖ヶ浦カンツリークラブ 袖ヶ浦コース
Aクラス 645Yards par72 / Bクラス 6778Yards par72

3時間半の競技中断ながら全倶楽部4人が完走

東千葉CCが実力を発揮 地元・袖ヶ浦CCの連覇を阻む

風の前の静けさか、8月2日(火)の朝の袖ヶ浦カンツリークラブ袖ヶ浦コースは、青空の下に出場の各倶楽部旗が、ハラとも動かない快晴無風だった。

しかし関東倶楽部対抗決勝競技の当日の千葉県は雷雨接近の予報。参加者の全員も荒天を覚悟していた。

7時30分、競技は予定どおり開始された。Bクラス・10番ティのトップスタートには豊島豊選手(東千葉CC)、すぐ次の組には水上見男選手(袖ヶ浦CC)がいた。ともに優勝を狙う強豪倶楽部のエース同士で、先鋒の重責を担っている。

10時20分、雷雨接近のため競技は一時中断。早いスタートの組は前半のハイフラウンドを終えていた。雷は時折り遠雷が聴こえる程度だったが、豪雨の勢いは止まらない。たちまちグリーンに水が浮きはじめた。コース内で雨宿りしていた選手も、クラブハウスに引き上げた。

やがて14時ちょうど、先ほどまでの雷雨が嘘のように青空が戻り、競技が再

開された。競技は各倶楽部のA・Bクラス各2選手の、合計ストロークで競うことになった。16時に全選手が9ホールのプレーを終え、18時40分に全員がホールアウトした。

優勝した東千葉カンツリークラブは、3年ぶり7度目の大会制覇。前回も雷雨による中断で、少ない競技人数での競技成立となる競技規則が適用された。

結果を分析すると多少の運不運はあったかもしれないが、やはりチームの実力の公平な評価だった。

「変則大会に強い東千葉ということになりそうですが、次回は天気の良いときに勝ちたいと思います」とは、表彰式で優勝倶楽部の代表としての浅野支配人の喜びの声。



関東倶楽部対抗決勝競技

参加倶楽部数25 / 出場選手150名



優勝 東千葉カントリークラブ / 293ストローク



2位 嵐山カントリークラブ / 295ストローク



3位 総武カントリークラブ / 296ストローク



4位 富士カントリー笠間倶楽部 / 297ストローク



5位 袖ヶ浦カンツリークラブ / 299ストローク



ホールインワン



富永勝(総武CC)が8番パー3(177ヤード)でホールインワンを達成。使用クラブは7番アイアン。



左から。高橋大会会長、袖ヶ浦CCの安西理事長。右上から。●6位 / 諏訪湖カントリークラブ / 300 ●7位 / 大根根カントリークラブ / 300 ●8位 / 加茂ゴルフ倶楽部 / 301 ●9位 / 新千葉カントリー倶楽部 / 301 ●10位 / 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 303 ●11位 / 水戸グリーンカントリークラブ / 305 ●12位 / 富士宮ゴルフクラブ / 306 ●13位 / 日本海カントリークラブ / 307 ●14位 / 寄居カントリークラブ / 308 ●15位 / 習志野カ

ントリークラブ / 310 ●16位 / 戸塚カントリー倶楽部 / 311 ●17位 / 武蔵カントリークラブ / 311 ●18位 / 高萩カントリークラブ / 312 ●19位 / 岡部チサンカントリークラブ / 312 ●20位 / 伊豆にらやまカントリークラブ / 319 ●21位 / JGMゴルフクラブ高崎ロイヤルオークコース / 325 ●22位 / 伊香保国際カントリークラブ / 326 ●23位 / 葛城ゴルフ倶楽部 / 326 ●24位 / ゴルデンレイクスカントリークラブ / 338 ●25位 / オリムピックカントリークラブ / 341

MEMO 決勝競技 平成28年8月2日(火) ●天候: 雨のち晴れ、気温: 24.7度、風向: 南南東、風速2.4m/s (注: 悪天候のためA、B両クラス2名、計4名の合計スコアにより順位を決定)



決勝進出倶楽部

参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数3



1位 日本海カントリークラブ / 299ストローク



2位 伊香保国際カントリークラブ / 299ストローク



3位 JGMゴルフクラブ高崎ロイヤルオークコース / 300ストローク

変化に富んだホール設定の
距離のあるパー4を
いかに攻略するかが鍵



ベストスコア賞



左から。Aクラスの田村選手、
Bクラスの横川選手。



上から。貴井大会会
長、藤岡GCの竹村理
事長。



開催倶楽部、藤岡GCの代表選手と関係者。

競技の結果は、遠方より出場されま
した新潟の日本海カントリークラブが
激戦を制し1位で通過。2位、3位に
は群馬勢の2チームがブロック大会を
通過いたしました。第1ブロックの代
表として決勝に進出されます3倶楽部
の皆様の、決勝競技でのご健闘を祈念
いたします。

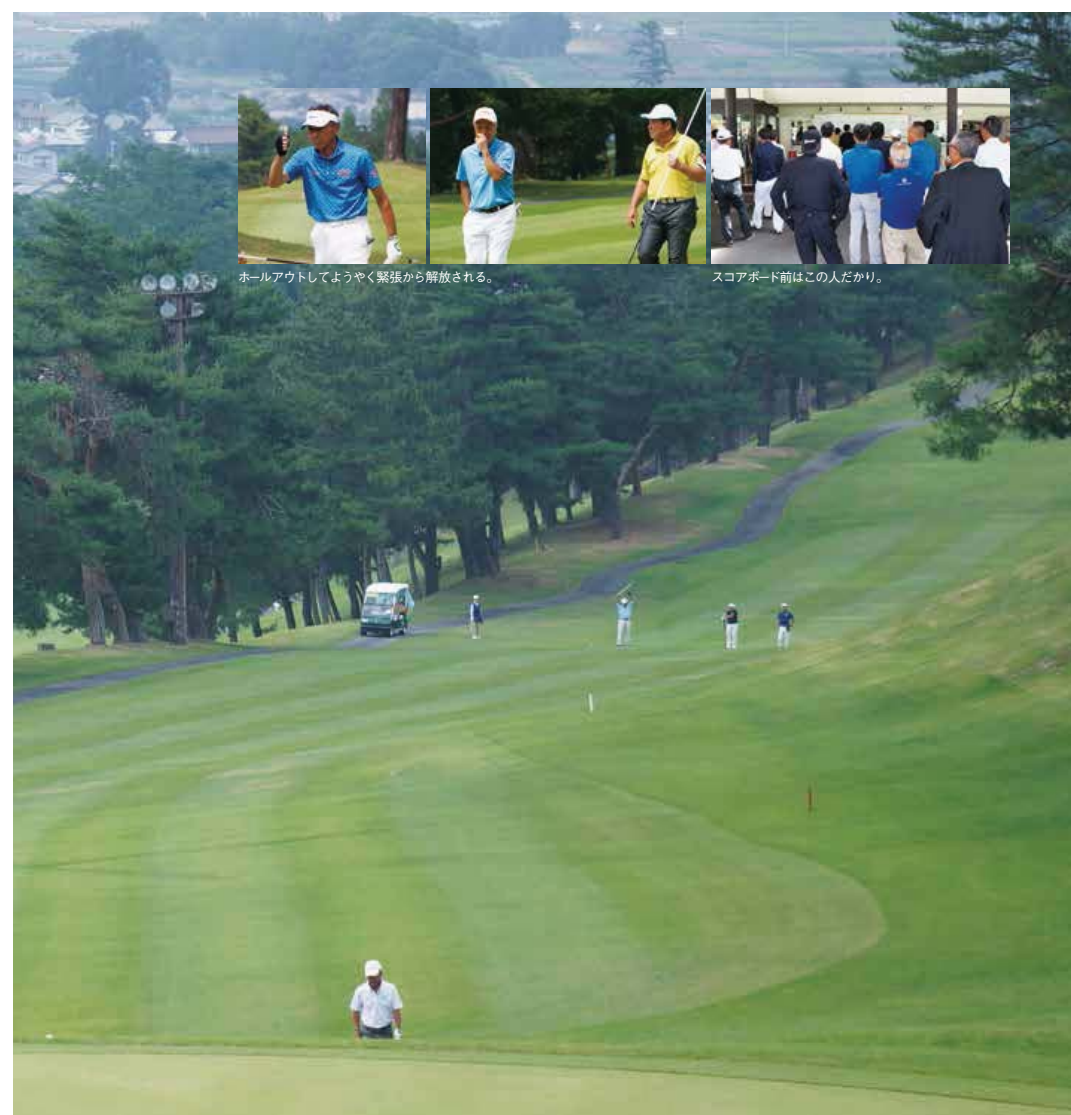
最後になりますが、本競技開催にあ
たり星野競技担当委員長をはじめとす
る競技委員ならびに運営委員の皆様、
そして各倶楽部の関係者の皆様のご支
援、ご協力により無事本競技を終了で
きましたことを、心より御礼申し上げ
ます。

(藤岡ゴルフクラブ支配人・鈴木利宗)



ホールアウトしてようやく緊張から解放される。

スコアボード前はこの人だかり。



1 藤岡ゴルフクラブ 東コース

Aクラス6206yards・Par72 / Bクラス6465yards・Par72

絶好調のコーライを舞台に新潟・群馬が激突

6月21日(火)、第1
ブロック大会は小雨ま
じりの天候でスター
ト。梅雨時期と重なり、
天候が心配でありまし
たが、昼前には小雨も上
がり、表彰式では晴れ
間も見えます。まずの
天候での開催となりま
した。

当倶楽部は昭和43年
に開場し、再来年には
開場50年を迎える東西
あわせて36ホールを有
するコースです。競技
開催は東コース。赤城・
榛名・妙義の上毛三山
を望む、雄大な景観の
コースです。グリーン
はコーライとベントの
2グリーンを採用して
おりますが、本競技は
本グリーンであるコー
ライを使用させていただきました。

ベントグリーンが主流の現在、慣れ
ないコーライグリーンに、出場選手の
中には日頃の実力を発揮できず、悔し
い思いをされた選手も多かったのでは
ないでしょうか。

そのような中、少しでもグリーンに
慣れ克服しようと、指定練習日以外に
も熱心に練習ラウンドを重ねるチーム
が多数おりました。熱心にまた真摯に
競技ゴルフに取り組まれる選手の皆様
を目の当たりにし、コースとしても身
が引き締まる思いでした。

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数17 / 通過倶楽部数4



1位 伊豆ならやまカントリークラブ / 294ストローク



2位 オリムピックカントリークラブ / 294ストローク



3位 富士宮ゴルフクラブ / 297ストローク



4位 諏訪湖カントリークラブ / 299ストローク



盛大な表彰式。



開催倶楽部、三井の森夢科GCの選手。
上左から。池田選手、箱山選手、浜選手、竹澤選手、宮坂選手、堀選手。



左から。
宮坂大会会長、(株)三井の森のGC藤本社長。



開催倶楽部、三井の森夢科GCの代表選手と関係者。

いました。

天候は八ヶ岳が厚い雲に覆われた悪天候の中、選手を鼓舞する多くのギャラリーに見守られた静岡県・山梨県・長野県の総勢17倶楽部102名の選手が、倶楽部の名誉と決勝競技の出場権をかけ熱戦を繰り広げ、上位4倶楽部が5ストローク差にひしめくハイレベルな争いとなりました。

決勝競技へ出場されます伊豆ならやまカントリークラブ、オリムピックカントリークラブ、富士宮ゴルフクラブ、諏訪湖カントリークラブの4倶楽部様におかれましては、第2ブロックの代表として大いにご健闘されますことを祈念申し上げます。

最後になりますが、大会開催にあたり主催である関東ゴルフ連盟様をはじめ参加倶楽部の皆様、倶楽部関係者の皆様のご支援ご協力により、無事に本競技を閉幕することができましたことを、心より御礼申し上げます。

(三井の森夢科ゴルフ倶楽部
支配人・唐澤潤)



標高1200メートル超の
爽やかな高原は
飛距離がグッと延びる



三井の森夢科ゴルフ倶楽部 からまつコース

Aクラス6330yards・Par72 / Bクラス6722yards・Par72

夢科高原の大森林に広がる戦略コース

当倶楽部は信州を代表するリゾート地である夢科高原の雄大な自然の中、昭和52年の開場より、会員をはじめ多くの方々に支えられ、ともに歩んできました。

この度のブロック大会をお受けするにあたり、昨年の秋より大会実行委員会を設け、参加選手の方々と関係者の皆様にご満足いただけるコースコンディショント、ブロック大会にふさわしい舞台を整えるため、倶楽部関係者の方々と意見交換を重ね、多くの皆様にご協力いただきながら準備を進めてまいりました。

関東ゴルフ連盟主催の競技では平成26年8月に関東女子倶楽部対抗決勝競技をお引き受けいたしており、その経験を得ていたことは、本競技の準備を進めるにあたっ大変貴重な財産であったと思います。競技当日のグリーンコンディションはステインブメーター9.5フィート、コンパクションは11。良好なコースコンディションの提供はもちろんのこと、夢科八ヶ岳連峰の景観美をお楽しみいただけるよう、植栽管理にも力を入れてま

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数22 / 通過倶楽部数5

1 位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 295ストローク



2 位 嵐山カントリークラブ / 295ストローク



3 位 戸塚カントリー倶楽部 / 297ストローク



4 位 寄居カントリークラブ / 297ストローク



5 位 武蔵カントリークラブ / 299ストローク



相模湖CC
八木智之グリーンキーパー

競技開催の経験を活かし新種芝に

相模湖CCとの名称から横浜や厚木に近い都市型コースと思われるが、山梨に近い気候です。今回のブロック大会は、予選競技を勝ち上がった選手の皆様にご挨拶を差し、グリーンは11フィートに設定。選手各位は「速いけれど転がりはスムーズ」と、お褒めの感想をいただきました。現在は同じ芝(ベングロス)の2グリーンですが、片方をより高速の新芝に切り換え競技仕様として研究中です。



開催倶楽部、相模湖CCの代表選手と関係者。



左から。相山大会会長、相模湖CCの榎本社長・支配人と原田競技委員長。



左から。Aクラスの佐々木選手、Bクラスの金子選手、竹内選手。

最後に、本競技の開催にあたり、露木競技担当委員長様をはじめ、KGA競技委員の皆様、大会運営に当たられた関係の皆様、各出場倶楽部の関係者の皆様方のご支援ご協力に厚く御礼を申し上げます。
(相模湖カントリークラブ支配人・榎本 剛)

桜コースは池を配置
百合コースは距離があり
油断できない面白み



3

第3ブロック大会

相模湖カントリークラブ 桜・百合コース
Aクラス 6241 yards par 72 / Bクラス 6582 yards par 72
芝の上から打てる特設練習場が大好評!

相模湖カントリークラブは丹沢山系を望む相模湖畔の景勝地に位置し、総面積215万平方メートルの敷地に27ホール・パ1108のコースを有し、首都圏からわずか1時間足らずに立地しています。
そして贅沢な自然に抱かれた丘陵地であるにもかかわらず、フラットで広々としたコースに多くの方が驚かれます。また豊かな樹木のセパレート帯や池は、季節ごとに装いを新たにし、個性あふれる27の各ホールを攻略すること、醍醐味のひとつであると言えます。
平成28年度関東倶楽部対抗第3ブロック大会は、当相模湖カントリークラブの桜コース・百合コースを使用し開催されました。今回の開催に際し、競技開催にふさわしいコースコンディションに仕上げる事ができました。そして練習場についても天然芝の打席をご用意するため、今回使用しない藤コースの1番ホールに、特設の打席ステジを設置しました。また応援団の皆様への会場設置も、多くの皆様をお迎えするための駐車場スペースも確保することができました。
競技当日は前日までの梅雨独特の雨天続きで心配しておりましたが、なんと持ちこたえ、グリーンも刈り高3・2ミリのダブルカット。スティンブメーター計測も11・0フィートにセッ

ティングでき、グリーンキーパーをはじめ職員一同安堵いたしました。
曇天の朝霧が残る中、大勢のギヤラリーの熱い視線を受け、トップスタートは7時30分。各倶楽部の精鋭の戦いの火ぶたが切って落とされ、決勝進出に向け、熱戦が繰り上げられました。
午後になるとアウト・インそれぞれの最終グリーンでは、選手が18番目のカップにボールを沈めるたびに、多くのギヤラリーの歓声と拍手に包まれました。
18ホールを戦い終えた選手の姿は、喜色満面の笑顔の方、少し肩を落としたながらも応援団の声援に応える姿など、様々なドラマが見られました。
一方、スコアボード前では続々と各組の結果の記入が進み、選手はもろもろ多くの応援団の皆様の一喜一憂が繰り広げられました。
競技結果は各地区予選を勝ち抜いた倶楽部と、ブロック大会シード倶楽部の出場22倶楽部の中、決勝進出の1位から5位までの差がわずか4打差という僅差の結果となりました。



決勝進出倶楽部

参加倶楽部数22 / 通過倶楽部数5



1位 習志野カントリークラブ / 301ストローク



2位 水戸グリーンカントリークラブ / 303ストローク



3位 富士カントリー笠間倶楽部 / 306ストローク



4位 加茂ゴルフ倶楽部 / 306ストローク



5位 ゴールデンレイクスカントリークラブ / 306ストローク

ちることなく、時折り薄日が射すような中、熱戦が展開され5倶楽部が決勝進出のところで3位から6位が同点となる接戦でした。決勝進出の各倶楽部は、来る決勝での健闘を約束されておりました。

また12番ホール(192ヤード)で藤城拓也選手(ディアレイクカントリークラブ)がホールインワンを達成され、当倶楽部より記念品を贈呈いたしました。当倶楽部は善戦むなしく8位で、残念ながら決勝へは進出することができませんでした。次回に期待です。

本競技が無事終了できましたのは、ひとえにコース下見の段階から細かくご指導いただいた、豊泉競技担当委員長をはじめとする関東ゴルフ連盟の競技委員の方々と、選手の皆様のご努力の賜と深く感謝し厚く御礼申し上げます。(日光カンツリー倶楽部支配人・若林梅夫)

上流から下流に2%の勾配で
コース全体では高低差50mにも！
この錯覚がドラマを演出



Bクラスの日暮選手。



藤城選手がホールインワンを達成。



ベストスコア賞

ホールインワン

4 日光カンツリー倶楽部

Aクラス6684yards・Par72 / Bクラス6954yards・Par72

3位から6位までが同スコアで並ぶ激戦の末に

春の遅い日光にも今年は何分早目の訪れとなり、草木も例年より早い開花となりました。したがって芝の芽吹きも順調に推移してきましたが、5月の中旬からの雨量の減少と高温が続き、グリーンとフェアウェイに被害が出はじめ苦慮いたしました。

練習にお出でいただいた各倶楽部の方々は、遅いグリーンで大変ご迷惑をおかけいたしました。ようやく当日の1週間前に雨が降り、なんとか少し回復することができ、競技の日を迎えることができました。

各倶楽部の応援席については4年前、栃木県の予選を開催した折り、テントでの対応だったところに途中からの雨と寒さのため、皆様にご迷惑をかけた経験から、梅雨時でもありクラブハウス内での対応いたしました。そのため手狭となり、ご不便をおかけすることとなりましたが、各倶楽部のご協力により和気あいあいとした雰囲気でご利用下さいましたことを、ありがたく思っております。

当日の予報が曇りのち雨ということで、天気が心配されましたが、雨が落



開催倶楽部、日光CCの代表選手と関係者。



日光CCのチームキャプテンと応援団の皆様。

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数23 / 通過倶楽部数5



1位 東千葉カントリークラブ / 286ストローク



2位 新千葉カントリー倶楽部 / 293ストローク



3位 総武カントリークラブ / 297ストローク



4位 大利根カントリークラブ / 300ストローク



5位 高萩カントリークラブ / 303ストローク



ギャラリーデントは終日お・お・に・ぎ・わ・い。



ベストスコア賞



左から。Aクラスの桜井選手と室野選手、Bクラスの庄司選手。



左から。安蔵大会会長、茨城GCの上野理事。

ら解かれ笑顔がこぼれていました。マスター室前に設置されたスコアボードにスコアが記入されるたび選手、各倶楽部の応援の皆様の歓喜の声、ねぎらう声が響いていました。結果はベストスコア「66」を叩き出した庄司由選手が所属する東千葉カントリークラブが、2位に7打差をつけてのトップ通過。新千葉カントリー倶楽部、総武カントリークラブ、大利根カントリークラブ、高萩カントリークラブの順に決勝に進出しました。我が茨城ゴルフ倶楽部は残念ながら決勝に進むことはできませんでしたが、決勝競技進出を決めた5倶楽部には、優勝を目指して頑張っていたかと思えます。本競技開催にあたりご尽力いただいた、すべての皆様に厚く御礼申し上げます。

高橋 隆

池越えが6ホール
景観美を愛でる余裕で
攻略ルートのチェックを



開催倶楽部、茨城GCの代表選手と関係者。



第5ブロック大会 茨城ゴルフ倶楽部 西コース

Aクラス6460yards・Par72 / Bクラス6971yards・Par72

千葉と茨城の強豪同士が熾烈な戦い

平成28年度関東東倶楽部対抗第5ブロック大会が、6月20日(月)当倶楽部西コースで開催されました。競技当日の天気は前日の夜に降り出した雨が、明け方に強まりましたが幸いにも開場時間に合わせたように上がり、最終組がスタートする時には晴れ間が広がり、午後には強い日差しが射しました。グリーンコンディションは刈り高3.2ミリ、ステインブメーカー11フィート、コンバクション23でした。各倶楽部の代表選手は、決勝進出がかかったブロック大会ならではの緊張感の中、大勢の応援に見送られスタートしていきましました。東コースに設置した応援団席では、休憩を取る選手を迎えるため、各倶楽部はもてなしの料理をテーブル狭しと並べ、選手が来るたび賑わっていました。昼近くから強い日差しがテントに差し込んで来たため、日よけに急遽よしずを設置し、太陽の動きに合わせて場所を変えたところ、応援の方からは「涼しくなった」「助かる」との声をいただきました。9番、18番、各グリーン周りでは選手を待つ応援団が集まり、パディーを決めた選手とハイタッチ。ホールアウトをした選手からは、競技の緊張感が

日よけの「よしず」が好評。



第1ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数17 / 通過倶楽部数4



1位 日本海カントリークラブ / 304ストローク



2位 湯田上カントリークラブ / 310ストローク



3位 十日町カントリークラブ / 314ストローク



4位 米山水源カントリークラブ / 316ストローク



左から。斎藤大会会長、紫雲GCの牧野理事長。

第1位で予選通過できた要因は、会場の紫雲GCは自宅からも近くラウンドする機会も多かったため、地の利を生かすことができました。さらに競技は団体戦のため、選手ひとり一人が決して諦めなかったことがもっとも良かった点です。ブロック大会に向けて、チーム一丸となつてがんばってまいります。(日本海CC 渡辺泰一郎選手)



当日のグリーンの状態は、グリーンスピードが10・4フット。コンパクションは10。朝から好天にも恵まれ、夏を思わせるような汗ばむ陽気と気温の上昇も相まって、競技も熱気に包まれ白熱した展開となりました。選手の皆様がホールアウトするたびに、ギャラリーの方々もハウス前のスコアボードに集まり、各チームの成績に一喜一憂していました。

表彰式は豊泉競技担当委員長の成績発表ではじまり、予選通過を決めた倶楽部が発表されると各倶楽部の選手からは歓声が上がり、勝ち抜いた喜びをわちあひ健闘をたたえあつていました。

最後に、無事に競技を終えることができ、競技担当委員長はじめKGA競技委員の皆様のご指導と、サポートしていただきました関係者のご協力に、心より御礼申し上げます。

(紫雲ゴルフ倶楽部支配人・岩村正二)



「モダンな風に吹かれて」
コースが難しいか易しいかは
攻略ルートとクラブの
選択にかかっている



開催倶楽部、紫雲GCの代表選手と関係者。

と反省を踏まえ、参加選手や関係者の皆様を良好なコンディションでお迎えするため、入念に準備を進めてまいりました。



新潟 第1会場予選

紫雲ゴルフ倶楽部 飯豊コース

Aクラス6544yards・Par72 / Bクラス6821yards・Par72

戦略型思考を地形に反映した飯豊コース

昨年の関東倶楽部対抗第1ブロック大会に続き、今回は新潟第1会場予選競技会場として、県内の17倶楽部102名の選手をお迎えして競技が行われました。

当倶楽部は昭和40年の開場から半世紀。この間、一貫して受け継いできた「愛されて選ばれるゴルフ場」を理念に、倶楽部会員、関係者が一体となって掲げてきた信条でもあります。

一方、近年は松くい虫被害が広がり、ゴルフ場を象徴する赤松林のコースが脅かされています。一朝一夕では解決できる状況ではありませんが、最善の対策を模索しながら地道に、防除を継続していく以外はないと考えております。そうした中、記念すべき節目の年に2年続けての開催は、大変名譽なことであり、昨年開催の経験と反省を踏まえ、参加選手や関係者の皆様を良好なコンディションでお迎えするため、入念に準備を進めてまいりました。

第1ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数3



1 位 石地シーサイドカントリークラブ / 305ストローク



2 位 小千谷カントリークラブ / 308ストローク



3 位 越後ゴルフ倶楽部 / 309ストローク



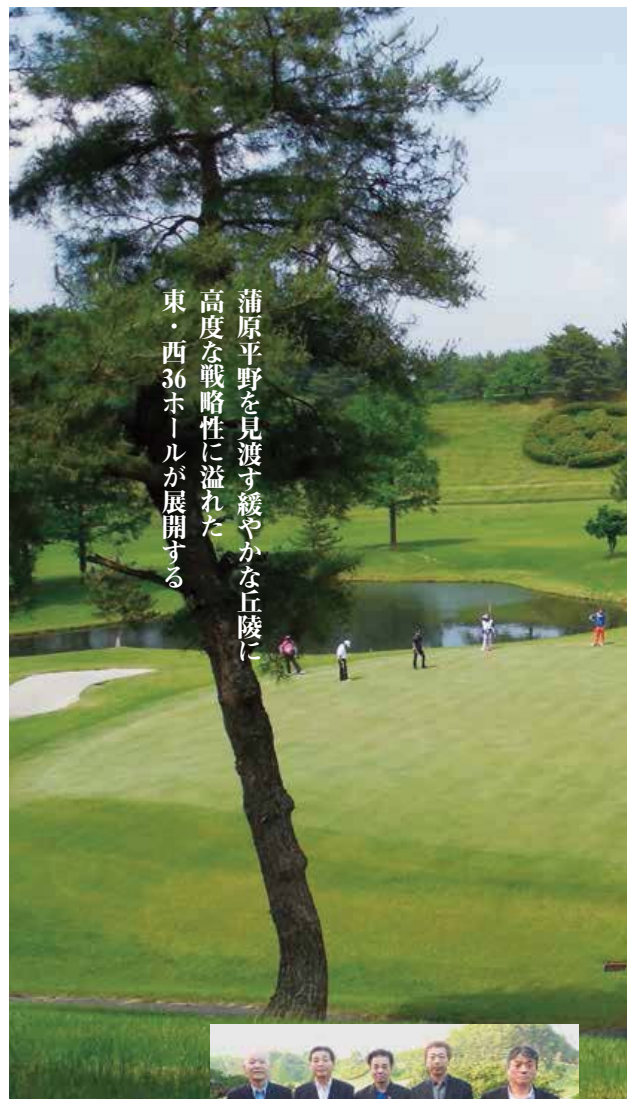
ベストスコア賞



Aクラスの田村選手。左から。斎藤大会会長、フォレストCCの古泉競技委員長。

他倶楽部の関係者やギャラリィが多数お見えになり、倶楽部対抗独特の雰囲気の中で、選手の皆様が全力でプレーする姿を拝見し、当倶楽部で競技を開催させていただき、本当に良かったと感じ深い思いとともに、私を含めスタッフ全員が倶楽部対抗のおかげで、またひとつ成長できたと感じられた一日でありました。

(フォレストカントリー倶楽部支配人・馬場敏郎)



蒲原平野を見渡す緩やかな丘陵に
高度な戦略性に溢れた
東・西36ホールが展開する



開催倶楽部、フォレストCCの代表選手と関係者。

いておりまして、いよいよ当日を迎えるという時に夜中から、早朝の時点でバンカーのほとんどは水たまりと化してしまいました。競技委員の方々も心配されておりましたが、コース管理部の迅速な対応により、刻々の



新潟
第2会場予選

フォレストカントリー倶楽部 東コース

Aクラス6458yards・Par72 / Bクラス6935yards・Par72

コースの大幅改修に加え前日はバンカーを全力で排水

気を遣っておりまして。その甲斐あつてか、プレーを終えた選手の方から、コースに対するお褒めの言葉を多数頂戴することができました。

競技前日まで1週間ほど晴天が続いておりまして、選手の皆様にも最高の状態を提供できるよう、数か月前から特に

関東倶楽部対抗新潟第2会場予選競技を無事に終えることができました。関東ゴルフ連盟の競技委員の方々ははじめ、この競技に携わっていただいたすべての皆様に、まずは厚く御礼を申し上げます。

昨年の関東女子倶楽部対抗開催に続き、男子の開催は平成22年以来6年ぶりということ、スタッフ一丸となり準備を進めてまいりました。特にコース管理は、前年度よりバンカーの大掛かりな改修工事や、コース内の植樹などに力を注いでまいりました。



渡邊秀吉(中条)、田中寿幸(イーストヒル) 75

第2ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数22 / 通過倶楽部数5



1位 穂高カントリークラブ / 461ストローク



2位 塩嶺カントリークラブ / 468ストローク



3位 立科ゴルフ倶楽部 / 469ストローク



4位 上田九子グランヴィリオゴルフ倶楽部 / 472ストローク



5位 あつみ野カントリークラブ / 472ストローク

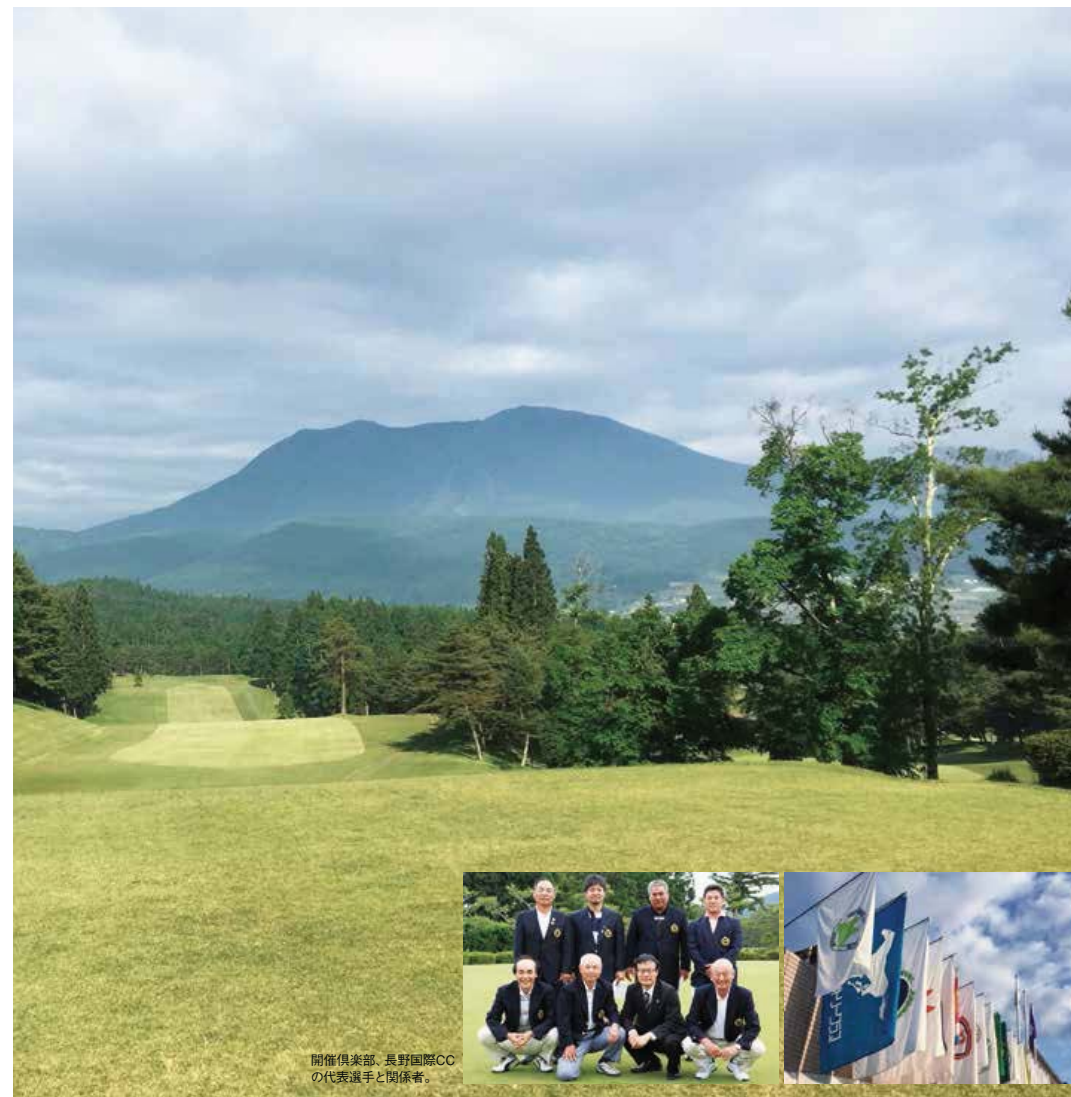
妙高、黒姫の名峰を
眼前に望む迫力
大地には巧妙な仕掛け



栄光のベナントを手にしたのは2年連続5位で予選通過を果たし、近年、安定的強さを誇る穂高カントリークラブでした。着実に足場を固めたうえで、満を持しての優勝は見事というほかはありません。また2位以降は塩嶺、立科、上田九子、あつみ野と、いずれも予選突破常連の強豪倶楽部が並びました。

心配されていた天候にも見放されず、雲山飯綱山に見守られながら、長野会場予選競技は速やかにかつ穏やかに閉幕しました。チームメイトとの友愛を通じて、ゴルフへの感謝をひとしおに感じた1日でした。

最後になりますが、競技開催にあたりご尽力いただいた皆様に、心より感謝申し上げますとともに、本競技の益々の発展を祈念させていただきます。(長野国際カントリークラブ総支配人・古木惣一郎)



開催倶楽部・長野国際CCの代表選手と関係者。

長野
会場予選

長野国際カントリークラブ 黒姫・城山コース

Aクラス6175yards・Par72 / Bクラス6423yards・Par72

開催倶楽部チームでも地の利を生かせなかったタフさ

違う様子に調子が合わなかったのか、プレー慣れしているはずの地元北信地区各倶楽部の、ブロック大会進出は叶いませんでした。

その中でも極めつけは、開催倶楽部の長野国際CCチームです。倶楽部競技では70台前半でラウンドする選手達ですが、まさかの18位と下位に沈みました。ホスト役としては面目躍如となつた次第です。

競技当日の朝、開きの前の静けさに包まれたコースは、遠く菅平の後線から射し込む朝陽に照らされて、美しく輝いていました。風にはためく倶楽部旗の波は、この競技が名誉をかけた一戦であることを印象づけ、選手達の心に火を点けたことでしょう。

今年の会場は長野国際カントリークラブ。その長野県の北端に位置する倶楽部に、県内から22チーム132名の名手達が集い、自慢の腕を競い合いました。コースは距離こそ短いものの変化に富んでいる上、グリーンの読みが難しいなど、選手達に容易に果実を与えないセッティングでした。いつもと違う様子に調子が合わなかったのか、プレー慣れしているはずの地元北信地区各倶楽部の、ブロック大会進出は叶いませんでした。

第2ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数3



1位 オリムピックカントリークラブ / 457ストローク



2位 都ゴルフ倶楽部 / 462ストローク



3位 昇仙峡カントリークラブ / 464ストローク



左から。内藤大会会長、甲斐ヒルズCCの高村競技委員長。



ベストスコア賞



上。Aクラスの岩波選手。
下左から。Bクラスの手塚選手と小田切選手。ショットは同じく赤坂選手。



スコアだけでなく紳士的なプレーが、弊社のキーマンにも好印象でした。2位の都ゴルフ倶楽部、3位の昇仙峡カントリークラブは、ともに練習ラウンドにも熱心に通っていたという成果が出たのではないだろうか。

この3倶楽部の選手には、山梨の代表としてぜひ活躍いただきたいです。ちなみに当倶楽部は10位と順位こそ押しませんでしたが、全選手が全力を出し切ることができ、清々しい気持ちで本競技を終えることができました。ベストスコア賞はAクラスの2名で、成績は71ストローク。Bクラスは3名で成績は72ストローク。加えて秋山カントリークラブの佐藤選手が、73歳で73ストロークのエイジシュート達成されました。

この結果が示すように本競技が上位拮抗のエキサイティングなものとなったのは、萩原競技担当委員長をはじめとした競技委員にご検討いただいた、絶好のコースセッティングの賜とひとえに感謝しております。

最後に、本競技を無事終了できましたことは、内藤大会会長、萩原競技担当委員長をはじめとした競技委員の皆様、当倶楽部の高村競技委員長をはじめとした倶楽部会員の皆様、そしてなによりご参加いただいた各倶楽部の選手および関係者のご理解とご協力の賜であります。当倶楽部を代表し、心より感謝御礼申し上げます。

(甲斐ヒルズカントリー倶楽部代表取締役社長・樋口能弘)



平成の作品ながら
26年を経て成熟した風格が漂う
森の散歩道は広く明るい



甲斐ヒルズCCの望月キャプテンの挨拶。



開催倶楽部、甲斐ヒルズCCの代表選手と関係者。

新緑の清々しい空気の中、平成28年度関東倶楽部対抗山梨会場予選競技が、甲斐ヒルズカントリー倶楽部にて開催されました。

当日の天候は予報段階では悪天候になるのではと懸念されておりましたが、蓋を開けてみれば最高気温26度の曇り、時折り小雨もまじりましたが、これがむしろ心地よく感じるような絶好のゴルフ日和となりました。

競技は7時30分よりスタート。競技委員のコールとともにそれまで和やかだったコースの雰囲気が一転、なんとも言えない緊張感がスタートティーを支配し、今年一番の熱い戦いが幕を開けました。

競技はトラブルもなく、また競技委員の皆様の連携も非常に素晴らしかったため、順調に進行することができました。その間、選手のプレーを祈るように見守る倶楽部関係者、そして各倶楽部のブースで交わされる選手への激励、スコアボードを前にして起る選手の一喜一憂、まさに団体戦ならではの雰囲気や一体感を感じつつ、ここにかけるすべての方々の想いのこもった本競技を運営できる喜びを従業員とともに改めて実感いたしました。

終わってみると、各倶楽部ともに好成績の拮抗した試合となりました。優勝はオリムピックカントリークラブ。

山梨 会場予選

甲斐ヒルズカントリー倶楽部
Aクラス624yards par 72 / Bクラス672yards par 72
紳士的なプレーに賞賛の声、エイジシュート達成も

第1ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数3



1 位 太田双葉カントリークラブ / 449ストローク



2 位 赤城国際カントリークラブ / 454ストローク



3 位 JGMゴルフクラブ高崎ロイヤルオークコース / 462ストローク



ベストスコア賞



左から。Aクラス
の金井選手、Bク
ラスの木村選手。



左から。寺本大会会長、甘楽CCの東久理理事長と岡野キャ
プテン。



甘楽CCの代表選手と関係者のお見送り。

フラットな赤松林を 18ホールが縫うルートプランで 戦略性満載の林間コース



カントリークラブ、準優勝が赤城国
際カントリークラブ、3位はJGM
ゴルフクラブ高崎ロイヤルオーク
コース。以上3チームがブロック大
会へ。当倶楽部はホームコースであ
るゆえのプレッシャーなのか、残念な
がら12位となりました。朝早くから
本当に選手の皆様、大変お疲れ様で
した。

表彰式終了後、ホームコースの選
手と応援団が、大会役員や参加倶楽
部選手をお見送りする姿は、関東倶
楽部対抗競技特有の光景で、いつ見
ても気持ちのいいものです。

最後に、ご尽力いただいた競技担
当委員長はじめKGA役員・関係者・
甘楽CC会員ボランティア・グルー
プコースの皆様、開催にあたりご協
力いただき無事に終了できましたこ
と、心よりお礼申し上げます。

(甘楽カントリークラブ・高橋均)



群馬 甘楽カントリークラブ

Aクラス6458yards・Par72 / Bクラス6615yards・Par72

開催直前の高温と乾燥には手作業で対応



開催倶楽部、甘楽CCの代表選手と関係者。

開催倶楽部、甘楽CCの代表選手と関係者。
トコース・インコースとも、
応援団からのナイスショット
の支援を受ながらスタートし
ました。昼過ぎよりトップス
タートの選手が上がりはじめ
ると、マスター室横に設けま
したスコアボード周辺は歓喜
の声。そして最終組が上がっ
てくる時間になると、もうス
コアボードの前は選手および
関係者・応援団の一喜一憂。
競技結果は優勝が太田双葉

関東倶楽部対抗群馬第1会場予選競
技が5月25日(水)、当倶楽部におい
て16倶楽部・選手128名の参加で開催
されました。昭和55年の初回、平成10
年に続き今回で3回目の倶楽部対抗競
技開催になります。

選手の皆様と関係者の方々にご満足
いただけるよう、そして会員・従業員
が一丸となり競技会の成功を目標に、
コースメンテナンスと準備を進めてま
いりました。しかし5月中旬に気温
が30度に達する日もあり、雨も降らず
乾燥してしまつたところもあり苦労も
ありました。またグリーンは10フィ
ート以上出せるように、当日の早朝にも
ローラー作業をおこない、なんとか良
好な状態を作ることができました。芝
が弱らぬよう散水車を使用し、対応し
てまいりました。

当日は雲が空一面を覆い、時に小
雨が落ちる朝でしたが、スタート時
には気温21度、曇りのベストコンデシ
ョン。各倶楽部応援関係者もス
タートコースに向かい、アウ
トコース・インコースとも、
応援団からのナイスショット
の支援を受ながらスタートし
ました。昼過ぎよりトップス
タートの選手が上がりはじめ
ると、マスター室横に設けま
したスコアボード周辺は歓喜
の声。そして最終組が上がっ
てくる時間になると、もうス
コアボードの前は選手および
関係者・応援団の一喜一憂。
競技結果は優勝が太田双葉

第1 ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数15 / 通過倶楽部数3



1 位 伊香保国際カンツリークラブ / 445ストローク



2 位 初穂カントリークラブ / 448ストローク



3 位 草津カントリークラブ / 454ストローク



桐生CC
東城 誠グリーンキーパー

芝目による微妙なライン読み

グリーンキーパーの誇りとして、簡単に攻略されるようなグリーンにはしたくありません。競技中はトップ選手の皆様がラインを読み違えてパットを外すのを見て、内心、ニヤリとしていました。当コースは砲台グリーンが多く、赤城山からの芝目が強いのが特徴です。かつてはニューベント芝(アート1号)の芝目をなくそうという案がでしたが、会員各位のご要望で復活。どうぞ楽しんでみてください。初心者の方は面自体が平坦ですから大胆に攻略を。



赤城山の南麓 標高600mの丘陵に アウトとインでダブルの感動



平成28年度関東倶楽部対抗群馬第2会場予選競技が、5月24日(火)に当倶楽部におきまして15倶楽部120名の選手が参加して開催されました。今回で2回目の開催となりましたが、十数年ぶりの開催とあって当初は手探りで準備となり、この日に照準を合わせKGA競技委員のご指導のもと、選手の皆様にご満足いただけるようスタッフ一同一丸となり、運営の準備をまいりました。

当倶楽部は昭和50年4月に東武鉄道グループ会社のゴルフ場として開場し、今年で42年目を迎えました。同じくグループ会社で運営している東京スカイツリーと同じ、標高634メートルのインコース12番ティグラウンド付近からは、晴れた日には東京スカイツリーも見え、自然の地形をそのまま生かし、松林にセパレートされた丘陵地に広がる林間タイプで、特にグリーンは赤城山からの芝目が強いことが特徴です。

競技当日は朝から絶好のゴルフ日和となり、グリーンの状態は刈り高3・8ミリのクロスカット、ステインブメーター10・4フィート、コンパクション12と選手の皆様が最高のパフォーマンスを発揮できるようなコンディションとなりました。そのため競技も最後の最後まで目が離せぬ展開で、マスター



開催倶楽部、桐生CCの選手。上段左から。赤石選手、坂部選手、石川選手、須藤選手。下段左から。今田選手、井澤選手、岩下選手、前川選手。



来年の健闘を約束して広がる交歓の輪。

群馬 第2会場予選

桐生カントリークラブ

最後の1席を巡って5倶楽部が3打差で競う大接戦

室横に設置したスコアボードに各選手のスコアが記入されるたびに、各選手および応援関係者の歓声とため息が混ざり合いながら順位発表を待つておりました。

その結果、伊香保国際カンツリークラブが見事優勝、2位は初穂カントリークラブ、3位に草津カントリークラブの3チームがブロック大会に進み、特に3位から7位までは3打差の大接戦でした。残念ながら当倶楽部は目標としていた予選通過を果たせませんでした。



開催倶楽部、桐生CCの代表選手と関係者。(左上は周藤支配人)

最後になりましたが、大会開催にあたりまして萩原大会会長、大橋競技担当委員長をはじめとするKGAの競技委員の皆様、また参加倶楽部の選手各倶楽部の関係者および応援の方々にご尽力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。(桐生カントリークラブ支配人・周藤秀之)



ベストスコア賞



左から。Aクラスの根岸選手、Bクラスの松原選手と関選手。



左から。萩原大会会長、桐生CCの佐藤社長と新見競技委員長。

第4ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数3



1位 皇月ゴルフ倶楽部佐野コース / 447ストローク



2位 鹿沼72カントリークラブ / 468ストローク



3位 東松苑ゴルフ倶楽部 / 474ストローク



左から。Aクラスの橋本選手、Bクラスの中嶋選手。



左から。中嶋篤志大会会長、東松苑GCの別府理事長。



表彰式のパーティーで親睦を深める選手。



中嶋常幸プロを育てた
中嶋巖氏が設計したコースは
多彩な枝を要求される

い独特の緊張感の中、Aクラス・Bクラスの選手がアウト・インそれぞれから7時30分にスタートされ、競技が開始されました。

コース内では白熱したプレーが繰り広げられ、個人競技とは違った手に汗握る緊張感の中、選手の方々は懸命にプレーを続けていました。各倶楽部の応援の方々も、倶楽部ハウス2階テラスに設けられたスコアボードとコースを行き来し、拍手と溜め息をまじえながら、選手とともに倶楽部対抗競技に参加している喜びを感じているかのようでした。

年が明けてまだ間もない頃より、指定練習日以外にも多くの参加倶楽部の方々が練習に來場されました。驚かさ



競技当日のコースコンディションは、フェアウェイ12ミリ、ラフ50ミリ程度、グリーン3・8ミリのシングルカットにより、ステイン平均10フィート、コンバクション平均22といった状態となり、ほぼ予定されたコンディションとなりました。

競技当日のコースコンディションは、フェアウェイ12ミリ、ラフ50ミリ程度、グリーン3・8ミリのシングルカットにより、ステイン平均10フィート、コンバクション平均22といった状態となり、ほぼ予定されたコンディションとなりました。

コース整備においては開催日をゴールとし、グリーンのコア抜き、目砂散布といった基本的な更新作業を行いました。特に良質なグリーンコンディションを整えることが、プレーヤーの皆様

に気持ちの良いプレーをしていただくための大切な要素でもあることから、細心の注意を払いながら日々の作業を進めさせていただきました。

コース整備については開催日をゴールとし、グリーンのコア抜き、目砂散布といった基本的な更新作業を行いました。特に良質なグリーンコンディションを整えることが、プレーヤーの皆様

栃木 第1会場予選

東松苑ゴルフ倶楽部

Aクラス639yards par 72 Bクラス610yards par 72
チーム全員でコースを修復しつつ練習ラウンドに感服

れたのはチーム全員が目土袋を持参され、コースの保護をさせていただいている倶楽部があったこと。そして來場される際には、当倶楽部のスタッフへ気持ちよく挨拶をいただいたことでした。

「目土やボールマークの修復はゴルフ場の仕事」ということが一部で風習となつてしまつた現代、同じゴルフファとして誇りにさえ感じられたことをご報告させていただきます。

さて競技当日は晴天微風となり、倶楽部代表選手は応援団の声を背に、日頃の競技ではなかなか味わうことのない



ギャラリーテントは特等席。



快晴微風のゴルフ日和に。

そして優勝には皇月ゴルフ倶楽部佐野コースが輝き、続いて鹿沼72カントリークラブが2位、そして3位には開催コースの東松苑ゴルフ倶楽部が入り、見事、6月21日(火)に日光カンツリー倶楽部で開催されるブロック大会への出場権を獲得されました。

最後に、本競技開催にあたり浜島競技担当委員長をはじめとする競技委員の皆様、また参加倶楽部の皆様、そしてご尽力いただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。(東松苑ゴルフ倶楽部支配人・中嶋和也)

第6ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数15 / 通過倶楽部数3



1位 塩原カントリークラブ / 465ストローク



2位 鳥山城カントリークラブ / 465ストローク



3位 矢板カントリークラブ / 476ストローク



左から。松本大会会長、那須GCの松井理事長と有明競技委員長。



当委員長から成績が発表されると、会場は健闘した選手たちを称える拍手に包まれました。優勝は塩原カントリークラブ。2位は鳥山城カントリークラブ。3位は矢板カントリークラブ。予選通過3倶楽部とベストスコア賞を獲得された選手たちへ、松本大会会長より優勝ペナントが授与され、次いで大会会長の挨拶、開催倶楽部を代表し松井理事長から挨拶、有明競技委員長による乾杯と続き、優勝倶楽部の挨拶の後、表彰式は閉幕となりました。

最後となりますが、参加された倶楽部の皆様、競技委員の皆様、開催にあたりご尽力くださいましたすべての皆様のおかけをもちまして無事に競技を終了できましたこと、心より御礼申し上げます。

(那須ゴルフ倶楽部支配人・内海郁夫)



スタートホール付近は各倶楽部の旗が翻る。



栃木 第2会場予選

那須ゴルフ倶楽部

Aクラス6210yards・Par72 / Bクラス6602yards・Par72

開場80周年の記念事業にふさわしい激戦を展開

ティーインググラウンドに立つ選手たちを大勢の応援者が見守る中、15倶楽部、120名の激戦がスタートいたしました。競技は首位を塩原カントリークラブと鳥山城カントリークラブが同ネットで争う接戦となり、4番目の選手のスコアで優勝を決する白熱した戦いとなりました。表彰式となり、増田競技担当しました。

天気予報は曇り時々雨。時期的に霧も心配されましたが、当日は朝から小雨が降りつづけたものの、スタート後には徐々に天候も回復しました。

那須の山に新緑が萌え、風薫る季節の5月25日(水)、関東倶楽部対抗栃木第2会場予選競技が、那須ゴルフ倶楽部において開催されました。

那須五峯の裾野に広がる当倶楽部は、今年の7月に開場80周年を迎えることとなりました。コース設計の巨匠、井上誠一氏の巧みな技が活かされた本コースは自然の起伏、高原特有の気象がハザード以上の役割を果たしています。

那須五峯の裾野に広がる当倶楽部は、今年の7月に開場80周年を迎えることとなりました。コース設計の巨匠、井上誠一氏の巧みな技が活かされた本コースは自然の起伏、高原特有の気象がハザード以上の役割を果たしています。

第4ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数15 / 通過倶楽部数3



1位 ディアレイクカントリー倶楽部 / 460ストローク



2位 芳賀カントリークラブ / 464ストローク



3位 ゴールデンレイクスカントリークラブ / 465ストローク



植物園のような
美しい植栽で
日本の四季を彩る



い、つつい仕事事を忘れて熱戦に見入ってしまったことを反省しています。結果は成績表のとおり、ディアレイクカントリー倶楽部が優勝ペナントを獲得しておりますが、クオリファイされた各倶楽部の皆様には、次のブロック大会でぜひ活躍下さいませよう祈念しております。

振り返りますと今回の倶楽部対抗は、例年よりも各倶楽部の支配人ならびに関係の皆様が、多数来場されていたように感じました。倶楽部対抗の目的の一つである「各倶楽部との交流および親睦」は、選手はもとより我々も、そして応援団の皆様方も十分に感じられた大会ではなかったかと思えます。今後もこのような機会を大切に、関係団体との交流そして倶楽部内でも「明るく楽しいクラブライフの高揚」を、改めて感じさせられる大会でした。

(宇都宮カントリークラブ 支配人・福田忠幸)



栃木

第3会場予選

宇都宮カントリークラブ 北・中コース

Aクラス6434yards・Par72 / Bクラス6576yards・Par72

会員のボランティア協力で百万倍のパワーに感謝

前日の準備も終わり、競技当日を迎えました。天候にも恵まれ、各倶楽部の応援団も続々と来場し、15倶楽部120選手の出場、7時30分の定刻に第1組がスタートして行きました。その頃にはすでに気温以上に暑い、倶楽部対抗ならではの様子になっていました。

今回、当倶楽部はブロック大会へのシードを得ていたため、本競技には出場していませんでした。そんなことから私も一人のギャラリーとなつてしま

平成28年5月24日(火)の倶楽部対抗開催の前日、準備に追われている我々に1本の電話が入りました。「これから目土しに行くよ」と、あるコース委員の方からの電話でした。予期せぬ話に戸惑いながらも「お願いします」と申し上げました。コースの状況を心配してのことでしょう。仲間数名と来ていただきました。今回は平成22年からの過去3回とは違い、会員の皆様からの手伝いは依頼しておらず、自分たちだけで頑張ろうと思っていた中でのこと、ただただ感謝、感激、感動を覚えました。

そんなことがあった

第4ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数25 / 通過倶楽部数5

平成28年度
関東倶楽部対抗茨城第1会場予選競技



1位 土浦カントリー倶楽部 / 305ストローク



2位 大洗ゴルフ倶楽部 / 307ストローク



3位 金砂郷カントリークラブ / 313ストローク



4位 ノースショアカントリークラブ / 313ストローク



5位 猿島カントリー倶楽部 / 314ストローク



スも団体戦ならではの光景でした。
18ホールの熱い戦いを終え、アテス
トカード提出を済ませた選手の皆様は、
顔は、一様に緊張から開放され清々し
さを感じさせるものでした。またコー
ス上で火花を散らした選手同士が自然
と笑顔になり握手を求め、互いを讃え
合う姿に感動を覚えました。
選手が次々とホールアウトする中、
1階のエントランスホールに設けたス
コアボードにそれぞれの選手のスコア
が記入されるたび、周りからは大きな
歓声が上がりました。最終組がホール
アウトする頃になるとボルテージは最
高潮に達し、最後のひとりの記入が終
了した時には、さらに大きな歓声とた
め息が館内に響きました。最後には大
きな拍手も湧き起り、熱く長い一日に
終わりが告げられました。



上から。海老原大会
会長、グランドスラム
CCの織田理事長。

れた土浦カントリー倶楽部、大洗ゴル
フ倶楽部、金砂郷カントリークラブ、
ノースショアカントリークラブ、猿島
カントリー倶楽部の皆様には、茨城の
代表として頂点を極めていただければ
と願っております。
最後になりましたが、本競技開催に
あたりご尽力をいただきましたKG A
の皆様、ボランティアの皆様、そしてご
参加いただきました各倶楽部の皆様
のご支援とご協力により、無事に競技を
終えることができましたことを心より
感謝し、御礼申し上げます。
(グランドスラムカントリークラブ 副支
配人・楡山忠洋)



広くゆったりとゆる
堂々たる造形は
“ビッグスギ”の人柄そのもの

平成28年5月24日(火)、当グランド
スラムカントリークラブにおいて関東
倶楽部対抗茨城第1会場予選競技が開
催され、県内25倶楽部150名の選手
を迎え熱戦が繰り広げられました。
今年で開場31年目を迎える当倶楽部
は、ビッグスギの愛称で親しまれて
いる、杉本英世プロの手によりコース
設計されました。阿武隈の山並みの最
南端に位置し、40万坪の広大な丘陵地
に豊かな自然を残しつつ、雄大さと繊
細さを兼ね備えた戦略性に富む27ホ
ールのゴルフコースです。
今回、競技はその雄大な趣を持つ東
コースをアウトコースに、繊細な戦略
性を要求される中コースをインコース
として、多くのギャラリーが見守る中、
競技委員のコールのもと、各選手が興
奮と緊張の面持ちでスタートしていき
ました。
当日は晴天に恵まれ、吹く風も心地
良い絶好のゴルフ日和となりました。
コースの状態も昨年の秋からこの予選
競技に照準を合わせ、グリーンキー
パーを中心にコース管理スタッフが一丸
となつて取り組んだ結果、最高の仕上
がりを見せてくれました。
フェアウェイのダイヤモンドカット、
ファーストカットを取り入れるなど、日
頃取り組んでいる成果を選手の皆様に
ご披露することができました。特にグ

リーンの状態は刈り高3・3ミリ、ス
ティンプメーター11フィートと、各倶楽
部の代表選手を迎えるにふさわしいも
のとなりました。
また今回、レストランスタッフの「こ
こからだと選手の応援もできるね」の
一言から、レストランホールを各倶楽
部の応援ブースに活用したところ、各
倶楽部の応
援団の皆様か
らも天候に左
右されず、テ
ント設置の手
間も省け、ま
た居ながらに
して選手のプ
レームを見るこ
とができ快適
だったと好評
でした。
そんな和や
かな応援ブー
スも、ハーフ
を終えた選手
が上がつてく
ると状況が一変します。食事もそこそ
こにお互いラウンドしてきたコースや
グリーンの状態などを確認したい「グ
リーンが速い」「上に付けたらだめ
だ」といった会話が盛んに聞かえてき
ました。こうした情報交換、アドバイ



開催倶楽部、グランドスラムCCの代表選手と関係者。

茨城
第1会場予選

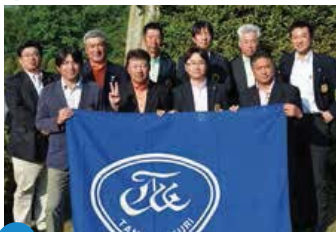
グランドスラムカントリークラブ 東中
コース
Aクラス6383 yards par 72 / Bクラス6774 yards par 72
レストランの活用で応援ブースの設置を解消

第6ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数24 / 通過倶楽部数5



1位 茨城パシフィックカントリー倶楽部 / 297ストローク



2位 玉造ゴルフ倶楽部 / 314ストローク



3位 大利根カントリークラブ / 314ストローク



4位 高萩カントリークラブ / 316ストローク



5位 カントリークラブ・ザ・レイクス / 316ストローク

太平洋の心地良い海風は
時には空のハザードに
攻めるか守るか決断の時

ベストスコア賞



上から。Aクラスの赤津選手。
Bクラスの沼田選手、軍司選手、柴田選手。



左から。草野大会会長、茨城パシフィックCCの伊藤理事長、荒川副理事長、伊藤コース代表。

優勝。A・B両クラスでベストスコア賞を獲得するなど予想以上に選手が奮闘し、倶楽部に錦を飾ってくれました。競技運営につきましては不慣れた開催コース事務局ではございましたが、草野大会会長、赤澤競技担当委員長をはじめ、KG A役員の皆様の確かなご指導により、大きな事故もなく運営できましたことを感謝申し上げます。最後になりましたが、競技開催にあたりコースの見直しができただけに、塚原理事をはじめ、KG A関係者の皆様に感謝申し上げます。また本競技開催にあたりご尽力いただいたすべての皆様と、練習ラウンドから何度か足をお運びいただき、競技を盛り上げて下さった選手の皆様に厚く御礼申し上げます。

(茨城パシフィックカントリー倶楽部総支配人・伊藤明子)



MEMO 天候：晴れ・気温：平均気温14.5度、最高気温19.6度(10時時点：16.5度)・風：平均風速1.8m/s、最大風速6.1m/s、風向：東北東(10時時点：3.5m/s)・グリーン・セント・ザ・レイクス3.8ミ、スティンブメーター 10.2フィート・その他：フェアウェイ刈り高12ミ、ラフ刈り高50ミ

茨城
第2会場予選

茨城パシフィックカントリー倶楽部

Aクラス6267yards・Par72 / Bクラス6737yards・Par72

前日の豪雨で水没したバンカーをキーパーが徹夜で修復

平成12年に関東倶楽部対抗予選競技を開催して以来、14年ぶりの倶楽部対抗予選競技の会場となりました。茨城県の最北端に位置する当倶楽部は本年度開場38周年。コースの設計者は名匠・富澤誠造氏です。

昨年からは今競技に向け従業員一同準備を進めてまいりましたが、競技前日にまさかの大雨。予想以上の雨量でほぼすべてのバンカーが水没してしまいう状態に。それでもなんとか選手の皆様、少しでも良い状態のコースでプレーしていただきたいとの想いで、雨の止んだ夕方よりキーパーは徹夜でバンカーの排水作業を行いました。

なんとかギリギリの状態でもコース整備が間に合った競技当日は、朝から素晴らしい快晴となり、コースセッティングはグリーンの刈り高3・8ミ、スティンブメーター10・2フィートでの開催となりました。

定刻どおり24倶楽部の代表選手達が予選通過の5枠を目指し、応援団の盛大な拍手のもとスタートしていききました。チーム戦という独特の緊張感の中、プレー中のコースや応援団席では各応援団の声援と笑顔が選手たちを鼓舞し、そのプレーをバックアップ。選手はその声援に応えるべく個人のスコアのみならず、チームのために必死で頑張り熱戦を繰り広げる。そんなチーム戦だからこそ一体感を随所に垣間見ることができ、会場は気温以上の熱気に包まれていました。

当倶楽部も開催コースの地の利を生かし予選通過を目指し、結果はなんと

準備を進めてまいりましたが、競技前日にまさかの大雨。予想以上の雨量でほぼすべてのバンカーが水没してしまいう状態に。それでもなんとか選手の皆様、少しでも良い状態のコースでプレーしていただきたいとの想いで、雨の止んだ夕方よりキーパーは徹夜でバンカーの排水作業を行いました。

なんとかギリギリの状態でもコース整備が間に合った競技当日は、朝から素晴らしい快晴となり、コースセッティングはグリーンの刈り高3・8ミ、スティンブメーター10・2フィートでの開催となりました。

定刻どおり24倶楽部の代表選手達が予選通過の5枠を目指し、応援団の盛大な拍手のもとスタートしていききました。チーム戦という独特の緊張感の中、プレー中のコースや応援団席では各応援団の声援と笑顔が選手たちを鼓舞し、そのプレーをバックアップ。選手はその声援に応えるべく個人のスコアのみならず、チームのために必死で頑張り熱戦を繰り広げる。そんなチーム戦だからこそ一体感を随所に垣間見ることができ、会場は気温以上の熱気に包まれていました。

当倶楽部も開催コースの地の利を生かし予選通過を目指し、結果はなんと

第3ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数22 / 通過倶楽部数5



1位 寄居カントリークラブ / 460ストローク



2位 さいたまゴルフクラブ / 466ストローク



3位 ザナショナルカントリー倶楽部 埼玉 / 468ストローク



4位 東松山カントリークラブ / 471ストローク



5位 鳩山カントリークラブ / 471ストローク



左から。Aクラスの宮本選手と関橋選手、Bクラスの田中選手。



三木大会会長

ゴルフクラブ、ザ・ナショナルカントリー倶楽部埼玉、東松山カントリークラブ、鳩山カントリークラブの5倶楽部が、ブロック大会進出を果たされました。埼玉代表としてご健闘いただきましたと思います。

最後にありますが、本競技を開催するにあたり、当倶楽部のスタッフはもちろん、会員の皆様や関東ゴルフ連盟関係各位のご指導、ご協力ならびに飯能パークのキャディーさんも、コースを覚えて一生懸命努力してくれましたが、当倶楽部のグリーンはあまり傾斜がなく、カップの位置ひとつで微妙に曲がるため、選手の皆様にはご迷惑をお掛けしてしまったのではないかと、申し訳なく思っております。

埼玉県の予選も10年前は36から37倶楽部を2分割した18倶楽部開催でしたが、年々参加倶楽部も増え現在は埼玉県45倶楽部が参加する競技となりました。

飯能パークのキャディーさんも、コースを覚えて一生懸命努力してくれましたが、当倶楽部のグリーンはあまり傾斜がなく、カップの位置ひとつで微妙に曲がるため、選手の皆様にはご迷惑をお掛けしてしまったのではないかと、申し訳なく思っております。

当初、日高カントリークラブの平沼総支配人から開催依頼があった際、まず困ったのはキャディーが30名程度しかいなかったことでした。幸い姉妹コースに飯能パークカントリークラブがあるため、社長と支配人をお願いしキャディーさんを借りることにしました。

が、コースもわからないキャディーでは、せっかく来場する他倶楽部メンバーにご迷惑をお掛けすることになってしまったため、シーズンオフに4回の研修を実施いたしました。

飯能パークのキャディーさんも、コースを覚えて一生懸命努力してくれましたが、当倶楽部のグリーンはあまり傾斜がなく、カップの位置ひとつで微妙に曲がるため、選手の皆様にはご迷惑をお掛けしてしまったのではないかと、申し訳なく思っております。

当初、日高カントリークラブの平沼総支配人から開催依頼があった際、まず困ったのはキャディーが30名程度しかいなかったことでした。幸い姉妹コースに飯能パークカントリークラブがあるため、社長と支配人をお願いしキャディーさんを借りることにしました。

当初、日高カントリークラブの平沼総支配人から開催依頼があった際、まず困ったのはキャディーが30名程度しかいなかったことでした。幸い姉妹コースに飯能パークカントリークラブがあるため、社長と支配人をお願いしキャディーさんを借りることにしました。

当初、日高カントリークラブの平沼総支配人から開催依頼があった際、まず困ったのはキャディーが30名程度しかいなかったことでした。幸い姉妹コースに飯能パークカントリークラブがあるため、社長と支配人をお願いしキャディーさんを借りることにしました。

距離表示に甘さなし
普段より大きめに打って
好結果に期待！



埼玉 第1会場予選

武蔵松山カントリークラブ
Aクラス6272yards Par 72 Bクラス6725yards Par 72
姉妹コースのキャディーを研修教育し万全を期す

関東倶楽部対抗競技は平成18年5月22日(月)に埼玉第2会場予選競技を開催したことがあり、ちょうど10年後の本年、2回目の開催となりました。当倶楽部は昨年9月に開場30周年を迎えましたが、翌年に本競技のような競技を開催することができ、大変光栄なことと思っております。

当初、日高カントリークラブの平沼総支配人から開催依頼があった際、まず困ったのはキャディーが30名程度しかいなかったことでした。幸い姉妹コースに飯能パークカントリークラブがあるため、社長と支配人をお願いしキャディーさんを借りることにしました。

当初、日高カントリークラブの平沼総支配人から開催依頼があった際、まず困ったのはキャディーが30名程度しかいなかったことでした。幸い姉妹コースに飯能パークカントリークラブがあるため、社長と支配人をお願いしキャディーさんを借りることにしました。

当初、日高カントリークラブの平沼総支配人から開催依頼があった際、まず困ったのはキャディーが30名程度しかいなかったことでした。幸い姉妹コースに飯能パークカントリークラブがあるため、社長と支配人をお願いしキャディーさんを借りることにしました。

參加俱樂部數22／通過俱樂部數5

2 位 鴻巣カントリークラブ／472ストローク

3位 嵐山カントリークラブ／478ストローク

4位 飯能グリーンカントリークラブ／485ストローク

5位 エーデルワイスゴルフクラブ／487ストローク



団結は倶楽部旗の下に
プレー後の記念撮影のために
早めに返却を完了

技が平成28年5月23日(月)、当倶楽部にて2チーム176名が参加し開催されました。当日の天気は快晴、最低気温15・3度、最高気温30・2度、湿度51%、微風と絶好のゴルフ日和でした。

コースコンディションについては昨年の冬から、この日に照準を合わせて選手の皆様にご満足いただけるよう、万全の準備を進めてまいりました。当日のコースセッティングはフェアウェイ13ミリ、ファーストカット23ミリ、ラフ60ミリ、グリーン刈り高3・8ミリ、カラースタンドで仕上げました。朝露の降った状態で計測したグリーンスピードは11・6フィート、コンパクション25となりまして。午後には30度を超える夏日となり、さらにグリーンは固く速くなり、12フィート超えの状況になったと思います。

当倶楽部では10年ぶりの開催となりますが、前回はメイングリーンが改造直後であったため、サブグリーン(草種はニューベントグラスのA4)を使用しましたが、今回はメイングリーンを使

用しました。草種はニュートグラスのT1。床はUSGA方式により改造したサンドグリーンで、抜群に水捌けの良いグリーンです。

競技当日は倶楽部対抗戦の雰囲気を感じ出すよう、倶楽部旗の配置は最終グリッドに上がつて来た時に、選手の世界に入る位置にセットしました。また倶楽部旗は午後2時過ぎには各倶楽部に戻し、倶楽部旗を囲んで選手、応援団で写真撮影ができるようにしたところ、どちらも好評を得られました。

当日は倶楽部対抗独特の雰囲気の中、緊張感が溢れ、ギャラリーの声援を受けたながら選手がスタートして



開催倶楽部、高麗川CCの代表選手と関係者。

埼玉
第2会場予選

高麗川カントリークラブ

メイングリーンは12フィート超えの高速仕上げに

第4ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数23 / 通過倶楽部数5



1位 カレドニアン・ゴルフクラブ / 463ストローク



2位 加茂ゴルフ倶楽部 / 464ストローク



3位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 469ストローク



4位 上総富士ゴルフクラブ / 476ストローク



5位 鷹之台カントリー倶楽部 / 478ストローク



開催倶楽部、ザ・CC・ジャパンの代表選手。

トリー倶楽部、4位は上総富士ゴルフクラブ、5位は鷹之台カントリー倶楽部。以上の5倶楽部がブロック大会進出を決めました。今回で参加2年目の当倶楽部は、開催コースのプレッシャーを感じ過ぎてしまうか21位となりました。個人ではAクラス・ベストスコアの神村種臣選手（藤ヶ谷）がエイジシュート達成。松澤宏樹選手（キヤスコ花葉）がホールインワンを達成されました。

この倶楽部対抗は選手（メンバー）と応援団（従業員）が、一丸となって参加する素晴らしい競技です。他倶楽部の方も参加を楽しみにしていること、選手に選ばれるために、あるいは代表に選ばれた方が、事前に何度も練習に來ていた理由が良くわかりました。

最後になりましたが、開催にあたりご協力をいただきました関係者の皆様、参加倶楽部の皆様に厚く御礼申し上げます。（ザ・カントリークラブ・ジャパン業務課課長代理・森田貴大）

54万坪の敷地に
贅沢に18ホールをセットし
攻略ルートは多様に

GK
レポート

ザ・CC・ジャパン
藤塚信男グリーンキーパー

日常業務でも競技設定を意識します

54万坪の広大な敷地の18ホールで、整備用機械の新規導入やコース課員のレベルアップにより、コースの状態を維持しています。そして自ら、ハードルを高く設定して、18ホールを同じコンディションで、フェアに作るよう心がけています。今回は倶楽部対抗の初開催でしたが、プロ競技開催の経験が活かして大成功だったと自負しております。と言いますのは、競技で慌てないように日々の管理作業でも、競技を想定して準備しているのです。



千葉
第1会場予選

ザ・カントリークラブ・ジャパン

Aクラス6425yards・Par72 / Bクラス6899yards・Par72

参加2年目で初の競技開催のプレッシャーを克服

く無事に競技を終えることができ、今後の競技会運営の良い経験になりました。

コースコンディションとしてはコース改造および改修のために、修理地となる箇所があり万全の状態ではありませんでした。その中でもクリンスピードは10・5フィートあり、ベストスコアは各クラス74ストロークでしたので、最良のコンディションで提供できたと思っております。

競技の結果ですが、カレドニアン・ゴルフクラブが優勝、2位は1打差で加茂ゴルフ倶楽部、3位は姉ヶ崎カ

平成28年5月16日（月）、当倶楽部にて関東倶楽部対抗千葉第1会場予選競技が、23倶楽部184名で開催されました。

競技当日は朝から晴天に恵まれて、絶好のゴルフ日和となりました。1組目が7時からという早いスタートでしたが、応援団の方も朝早くからテント村に集まり、にぎやかにスタート前の選手を迎えていました。

倶楽部対抗への参加は2年目で、初の開催コースとなりスタッフも手探り状態での運営でした。会場設営や競技運営についてはいくつか改善点がありました。

第6ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数23 / 通過倶楽部数5



1位 鹿野山ゴルフ倶楽部 / 463ストローク



2位 千葉国際カントリークラブ / 465ストローク



3位 佐原カントリークラブ / 470ストローク



4位 京カントリークラブ / 471ストローク



5位 房総カントリークラブ / 471ストローク



ベストスコア賞



官大会会長

上から。
Aクラスの和田選手。
Bクラスの大島選手。

の笑顔と悔しがる選手を激励する仲間たちが集まっています。最終組の記入が終わると歓声とため息が入りまじり、あわただしかった長い一日に終わりが告げられました。

競技結果は鹿野山ゴルフ倶楽部が2打差をつけた優勝し、2位・千葉国際カントリークラブ、続いて3位・佐原カントリークラブ、4位・京カントリークラブ、5位・房総カントリークラブがブロック大会進出を決めました。

最後になりましたが、競技が無事終了できましたこと、本競技に関わられたすべての皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。ありがとうございます。

(立野クラシックゴルフ倶楽部 支配人・川下岩雄)



アウトは戦略パターン
インは自然林の雄大さ
高低差はわずか12mの好立地

千葉
第2会場予定

立野クラシック・ゴルフ倶楽部
Aクラス648 yards par 72 Bクラス685 yards par 72
開場30周年を祝すに当日は快晴のゴルフ日和

平成28年5月16日(月)、当倶楽部にて関東倶楽部対抗千葉第2会場予選競技が、参加倶楽部23チーム184名にて開催されました。

当倶楽部は昭和61年10月に開場し、本年開場30周年を迎える記念すべき年にあたり、そのような年に本競技を開催することは、大変光栄なことであり、開催に向け選手の皆様に満足なプレーをしていただけるようにと、スタッフ一同入念に準備を進めてまいりました。

競技当日は朝から快晴、気温23度、ステインブメーター10フィート、コンパクション22、刈り高3・6ミリというまずまずのコースコンディション。午前7時、予選通過倶楽部の5枠を争い、第1組目が応援団の拍手を受けながらスタートして行きました。

時間を追うごとにギャラリイも増え、声援があがるようになり大会らしく盛り上がりを見せられました。お昼近くになると、カート庫を会場としたテント村も盛り上がりを見せ、選手、応援団の方々にも楽しんでいただきました。

午後、スコアボードに選手名が掲示されスコアの記入がはじまると、喜び



第6ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数22 / 通過倶楽部数5



1位 新千葉カントリー倶楽部 / 473ストローク



2位 千葉桜の里ゴルフクラブ / 484ストローク



3位 東京湾カントリークラブ / 490ストローク



4位 館山カントリークラブ / 495ストローク



5位 千葉カントリークラブ / 499ストローク



左から。
相馬大会会長。紫CCの運営理事長と中村理事。

開催倶楽部、紫CCの代表選手と関係者。



紫CCの「M」をシンボライズした独創的なクラブハウス。

赤松林の18ホールに シンボルの動物のブロンズ像 1番は咆哮するライオンだ



千葉 第3会場予選

紫カントリークラブ すみれコース

Aクラス6642yardspar72 Bクラス6927yardspar72

予知不能の天候不順で回復が遅延し懸念の復旧作業

平成28年5月16日(月)、関東倶楽部対抗千葉第3会場予選が当倶楽部におきまして、県内22倶楽部176名が参加し開催されました。

当倶楽部は昭和36年に開場し、5年前の50周年事業として大幅なコース改修工事を行ない、2020年には日本オープンゴルフ選手権を控えております。1972年に開催された日本プロゴルフ選手権以来のトーナメント開催となり、コースメンテナンスなど準備を着々と進めている中、男子倶楽部対抗の競技開催も10年ぶりとなつて、各代表選手が最高のコンディションでプレーできるような準備を進めてまいりました。

しかし、フェアウェイのエアレーションや目砂など、将来に向け良かれと思つた作業が天候不順と重なり、立ち枯れのような状態となつてしまいました。コース課のスタッフが懸命に追肥と散水をしたが、競技当日まで回復せず各選手には大変ご迷惑をお掛けいたしました。

競技当日は朝から晴天に恵まれ、日中は気温24度という絶好のゴルフ日和となりました。7時30分より1組目がスタートし順調に進みましたが、天候と緊張からか体調不良の選手が出て、人命優先の観点から豊泉競技担当委員長より救急車の要請があり、競技は一時

中断し、コース側としても管理道路の走行でなく、コース内フェアウェイに救急車を通行させ人命救助を優先させました。時刻に連絡が入り命に影響がなかったことが何よりでした。

さて当日のグリーンコンディションはステインプメーター10フィート、コンバクション23とスピードは抑えたのですが、ハーバーの頃には風も多少出てきてグリーン上も乾燥しはじめたのか、10フィートの表示以上に速かつたねと選手の方からもお褒めのお言葉を戴きました。

決勝への5枠を争い、スコアボードに各選手のスコアが記入されると歓声や溜息など、団体戦の倶楽部対抗ならではの風景でした。5位から10位までの5ストロークの差で、最後のプレーヤーのスコアが記入されるまで熱気溢れる戦いとなりました。

表彰式において予選通過を決めた倶楽部が発表されると、各倶楽部から大きな歓声があり、接戦だった今回の倶楽部対抗を物語るようでした。

最後になりましたが、本競技にあたりご尽力いただきました豊泉競技担当委員長はじめ競技委員の皆様、またフアキヤデーでご協力いただいた紫CCすみれ会員の皆様、そしてご参加いただいた各倶楽部の皆様のご支援とご協力により、無事に競技を開催できましたことを心より感謝申し上げます。

(紫カントリークラブすみれコース副支配人・中村昭広)

第3ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数14 / 通過倶楽部数3



1位 東京国際ゴルフ倶楽部 / 476ストローク



2位 立川国際カントリー倶楽部 / 488ストローク



3位 GMG八王子ゴルフ場 / 491ストローク



左から。
Aクラスの
山中選手、
Bクラスの
竹内選手。

本競技大会を通じて、関東ゴルフ連盟加盟倶楽部間の懇親が今後ますます深まりますよう期待します。(八王子カントリークラブ支配人・佐々木進二)



八王子CC
大野忠廣グリーンキーパー

東京国体の経験が今に生きます

八王子CCのグリーンキーパーを拝命し5年が経過しました。3年前には東京国体ゴルフ競技を経験いたしました。記録的大雪、記録的猛暑、記録的豪雨と数年来大変激しい気象状況が続く中、芝が芽吹きはじめる春に開催される競技に備え、悪戦苦闘の4か月でした。ティー、フェアウェイ、ラフの萌芽が思いのほかに遅く、競技直前にはグリーンのドライ状態が続き大変気を遣いましたが、辛うじて開催に滞りつめたようです。この経験を生かし、現状に満足することなく、さらに精進したいと思います。



左から。
佐藤大会会長、八王子CCの橋本理事長と安藤キャプテン。

開催倶楽部、八王子CCの代表選手と関係者。



全のコース管理を目指し、快適な応援者用ブースの設置を心がけてきましたが、皆様、どのように感じられたでしょうか。

当倶楽部は開催コースとしてのアドバンテージはありませんでしたが、惜しくもブロック大会に進出する東京国際ゴルフ倶楽部、立川国際カントリー倶楽部、GMG八王子ゴルフ場の選手各位のご健闘を祈念いたします。

開催コースとして大きな問題も発生せずに終了できたことは、大木競技担当委員長をはじめ関東選手各位のご尽力の賜と感謝申し上げます。

本競技大会を通じて、関東ゴルフ連盟加盟倶楽部間の懇親が今後ますます深まりますよう期待します。(八王子カントリークラブ支配人・佐々木進二)

東京の空と水と空気
そして緑のコースは
自然のオアシスです



東京
会場予選

八王子カントリークラブ

Aクラス6427yards・Par72 / Bクラス6427yards・Par72

選手にはタフなステージを観客には快適さを

多くのギヤラーが
入場される競技会として、平成25年「スポーツ祭東京2013ゴルフ競技」(第68回国民体育大会)以来、また関東倶楽部対抗では12年ぶりに八王子カントリークラブにおいて、東京会場予選競技が開催されました。

東京多摩地区の丘陵に位置する当倶楽部は、アウトコースは比較的フラットでありながら実質距離のあるレイアウトです。インコースは様相を変え、起伏のあるコースに砲台グリーンが待ち構え、正確なショットが要求されます。

各倶楽部選手は1か月以上前より当コースで練習を重ねられ、5月16日(月)に14倶楽部112名の代表選手により熱戦が繰り広げられました。開催当日の天気は曇り、気温20度、グリーンの刈り高3・7ミリ、スピード11フィート、コンパクション24(山中式)のセッティング。7時30分に1番ホールより八王子市街をめぐり、10番ホールではピンポイントに狙いを定め確実にショットが放たれ、熱戦が開始されました。

昼前より一時風がやや強く吹き選手を悩ませたようですが、それでもバー

第3ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数25 / 通過倶楽部数5



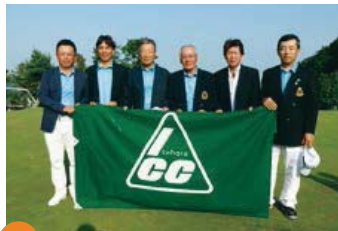
1位 東名厚木カントリー倶楽部 / 468ストローク



2位 戸塚カントリー倶楽部 / 472ストローク



3位 相模原ゴルフクラブ / 472ストローク



4位 伊勢原カントリークラブ / 472ストローク



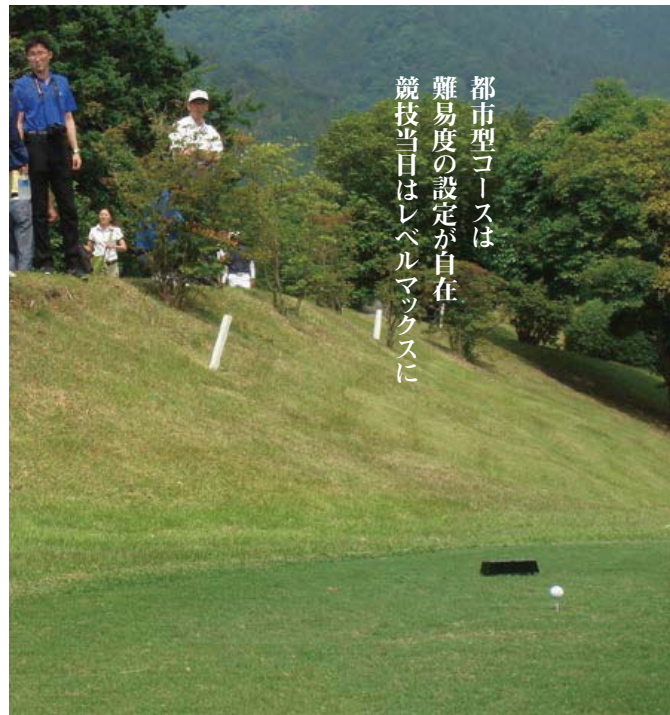
5位 大厚木カントリークラブ / 473ストローク



開催倶楽部、大厚木CCの選手と関係者。



位という大活躍でブロック大会進出を果たしました。
大変暑い中、選手の皆様、大変お疲れ様でございました。熱中症などで倒れる方もなく、無事に競技を終了することができました。これもKG A競技委員・事務局の方々のご指導ご支援をいただいたおかげでございます。従業員一同心よりお礼申し上げます。
(大厚木カントリークラブ総支配人・井上一夫)



都市型コースは
難易度の設定が自在
競技当日はレベルマックスに



大厚木CC
角田 稔
コースマネジャー

通常営業はやさしく、競技はハードに

大厚木CC本コースは、ラウンド時間短縮とアベレージゴルフに優しいコースセッティングを心掛けてコースを管理しています。そのため今回予選会場となり、普段とは相反するコース造りとなり課題は山積みでした。例えば当コースのグリーンは砲台かつ傾斜もついているため、普段はボールスピードを抑えラウンドしやすくしています。競技当日にはグリーンスピード、コンパクションを出すため散水を調節していましたが、当日も含め真夏日が連日続き30度をを超える日も数日あり、散水に追われていました。また懸念事項であるバンカーは石の混入や排水不良箇所があり、急ピッチで改善工事を行いました。

競技当日を終え、反省点もありましたが、普段では経験できない貴重な体験になりました。今後も多くのお客様が満足できるコース造りに努めていきたいと思います。

神奈川
会場 予選

大厚木カントリークラブ本コース 東コース・西コース

Aクラス6909yards・Par73 / Bクラス6909yards・Par73

夏を先取り。天に祈りが通じて競技当日は晴れ



平成28年5月23日(月)、関東倶楽部対抗神奈川会場予選が当倶楽部で、25倶楽部150名の選手をお迎えして行われました。
大厚木カントリークラブ本コースは厚木市郊外、丹沢山麓の広大な丘陵地に昭和45年10月に開場しました。現従業員のうちでは倶楽部対抗の開催を経験した者が少なく、従業員総出となり大会前日まで力と知恵を出し合い、準備に準備を重ね精一杯頑張っていました。週間天気予報がいつも以上に気になり、何度も天気予報を更新し、雨マークがつくと一瞬ドキッとする場面もありました。予報が太陽マークのみの最高気温30度に更新され、天気の不安もなくなり、開催当日は予報どおり5月では珍しく気温28度となる夏日となりました。
選手を筆頭にご来場され、当倶楽部の自慢のレストランにて和・洋朝食バイキングを召し上がっていただきました。この飯は大盛りでね」と選手も準備万端！でした。
清々しい風を感じながら、トップが7時30分にスタートしました。インコース(西コース)は応援団が選手の上段の真後ろから見守り、ドライバースhotsの落地点もお楽しみいただけたかと思えます。
前半を終えた選手からは「グリーンが速く固いぞ」との声。大会に備えグリーンキーパーが秘策を練り、万全なグリーンコンディションとなりました。当倶楽部チームもグリーンに気が抜けないプレーになったことでしょう。結果5

第2ブロック大会進出倶楽部

参加倶楽部数23 / 通過倶楽部数5

関東倶楽部対抗 静岡地区予選競



1 位 伊豆にらやまカントリークラブ / 303ストローク



2 位 富士小山ゴルフクラブ / 305ストローク



3 位 大熱海国際ゴルフクラブ / 309ストローク



4 位 富士カントリークラブ / 313ストローク



5 位 伊東カントリークラブ / 315ストローク



開催倶楽部の浜松シーサイドGCの選手。
メイン写真、大谷選手。
左から。吉田選手、山崎選手、大高選手、大
左選手、大島選手。



上から。
福田大会会長、浜松シーサ
イドGCの大高選手団キャ
プテン。

展示品を食い入るように見つめる人や、
グッズを購入される姿が見られました。
競技の結果は1位が伊豆にらやまカ
ントリークラブ(303)、2位は富士
小山ゴルフクラブ(305)、3位は大
熱海国際ゴルフクラブ(309)、4位
は富士カントリークラブ(313)5位
は伊豆カントリークラブ(315)とな
りました。予選通過チームのブロック
大会での健闘をお祈りします。
最後となりましたが、本競技の準備
段階から関係者の皆様方のご指導、ご
協力に感謝と御礼を申し上げます。
(浜松シーサイドゴルフクラブ理事・
沖田晃)



松林の海岸砂丘の趣
海からの風は
新鮮で力強い



開催倶楽部、浜松シーサイドGCの代表選手と関係者。

浜松シーサイドゴルフクラブ

Aクラス6282yards・Par72 / Bクラス6643yards・Par72

開場50周年のイベントにスタッフ一同全力で

当日は「スコッティ キヤメロン
ミュージアム&ギャラリー」も開放され、
選手が上がりはじけると、選手や応援団はスコアボードに集まり、スコアが記入されるたびに喜びや嘆きのため息が聞こえてきました。
選手が上がりはじけると、選手や応援団はスコアボードに集まり、スコアが記入されるたびに喜びや嘆きのため息が聞こえてきました。
選手が上がりはじけると、選手や応援団はスコアボードに集まり、スコアが記入されるたびに喜びや嘆きのため息が聞こえてきました。

平成28年度関東倶楽部対抗静岡会場予選競技が5月26日(木)、浜松シーサイドゴルフクラブで開催されました。当日は前夜からの雨で天候が心配されましたが、曇りのち晴れとなりゴルフ日和となりました。
一番乗りの御殿場コースの選手団に続き参加23チーム、138名の選手が参加されました。今競技は浜松シーサイドGCにとっても開場50周年の記念大会ともなり、競技に向けてスタッフ一同が一丸となって準備を進めてまいりました。
倶楽部対抗という独特の緊張感の中、各倶楽部の選手団がコールされるたびに、大きな拍手や声援に送られスタートしました。思いどおりのプレーができた選手もできなかった選手も、最終ホールの真剣なバットを終えて緊張感から解放され、ホッとした笑顔が印象に残りました。
選手が上がりはじけると、選手や応援団はスコアボードに集まり、スコアが記入されるたびに喜びや嘆きのため息が聞こえてきました。

勝技 決競

平塚富士見カントリークラブ 平塚コース
5946 yards par 72
1週間順延の後に各倶楽部の気迫が爆発

鹿沼CCCが2打差で 成田東CCCに競り勝つ！

1週間前の競技当日は朝の9時に台風接近で順延と決まり、9時半にはもう送迎バスで帰途に着いた。でも東海道線が途中で不通になり、コースを出てから品川駅まで合計で5時間もかかった。

平成28年度関東女子倶楽部対抗決勝競技が、8月29日(月)に改めて開催された。この日も台風の進路によっては競技中断の恐れがあったが、なんとドラマチックなゴルフ日和じゃないか。台風の余波で突然の突風やにわか雨があっても、自然の面白い演出に感じてしまふほどだ。

関東女子倶楽部対抗は、オール関東のゴルフの祭典なのだから、やはりお祭り気分を楽しまなくては。

選手の明るさとチームの好調さは、必ずしもマッチしないようだ。下位に沈んでも元気なチームは、今後の成長に期待できるだろう。最下位だったメイプルポイントゴルフクラブは、既成のウェアの袖

を取るなどのリフォームをして楽しみ、笑顔にとてもよく似合っていた。

逆に選手の元気がそのまま結果に現れたのが、鹿沼カントリー倶楽部だろう。各選手は2年前の雪辱に燃えて……なんてプレッシャーとは無縁でゴルフを楽しんでいたようだ。

「今日のためと決めたウェアとは、別なものを着てきた選手もいます。でも競技は参加することに意義があると同時に、勝たなければ意味がないと思います」とは、鹿沼CCCのエース格の角田選手。

2打差で惜敗した成田東カントリークラブの小川キャプテンは「この競技の開始から7年間、ずっとベスト6内にいることが誇りです。全員が仕事の合間のゴルフですが、ゴルフがとにかく好きなんです」と、チームワークが強さの秘密と自慢する。

この日は関東女子ミッドゴルフ選手権の予選競技と日程が重なってしまい、有力選手の不参加も目

●本年度の最優秀選手賞の鈴木郁子(鹿沼)。●栃木会場予選・ベストスコア賞の北原綾子(鹿沼)。●茨城会場予選・ベストスコア賞の塚原いずみ(桜)。●静岡会場予選・ベストスコア賞の細野ハツ季(沼津)。●神奈川会場予選・ベストスコア賞の今井信子(箱根)。●千葉第1会場予選・ベストスコア賞の吉田茜(姉ヶ崎)。●開催倶楽部の実力者・加藤理刈(平塚富士見)。



開催倶楽部・平塚富士見CCの会員ボランティアの皆様が「緑の下力持ち」で大活躍。



関東女子倶楽部対抗決勝競技

参加倶楽部数34 / 出場選手136名



優勝 鹿沼カントリー倶楽部 / 232ストローク



2位 成田東カントリークラブ / 234ストローク



3位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 236ストローク



4位 富里ゴルフ倶楽部 / 238ストローク



5位 平塚富士見カントリークラブ / 243ストローク



スコアボード(画面ディスプレイ)に成績が発表された瞬間、大喜ぶ鹿沼CCの角田選手(左)と最優秀選手賞の鈴木選手(中)。2人を祝福する右手前の小川選手(成田東)のスポーツマンシップも立派。



最優秀選手賞



高橋会長から最優秀選手賞を授与される鈴木選手(鹿沼)。



左から、開催倶楽部・平塚富士見CCの平松理事と高野理事。

右上から下へ。優勝/鹿沼カントリー倶楽部 / 232 ● 2位/成田東カントリークラブ / 234 ● 3位/姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 236 ● 4位/富里ゴルフ倶楽部 / 238 ● 5位/平塚富士見カントリークラブ / 243 ● 6位/京カントリークラブ / 244 ● 7位/扶桑カントリー倶楽部 / 244 ● 8位/岡部チサンカントリークラブ / 245 ● 9位/石坂ゴルフ倶楽部 / 246 ● 10位/沼津ゴルフクラブ / 246 ● 11位/浦和ゴルフ倶楽部 / 247 ● 12位/ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン / 247 ● 13位/穂高カントリークラブ / 248 ● 14位/木更津ゴルフクラブ / 249 ● 15位/総武カントリークラブ / 249 ● 16位/赤城ゴルフ倶楽部 / 249 ● 17位/芳賀カントリークラブ / 250 ● 18位/大相模カントリークラブ / 252 ● 19位/箱根カントリー倶楽部 / 252 ● 20位/長野カントリークラブ / 252 ● 21位/東松苑ゴルフ倶楽部 / 252 ● 22位/白水ゴルフ倶楽部 / 254 ● 23位/浜松シーサイドゴルフクラブ / 254 ● 24位/相模カンツリー倶楽部 / 254 ● 25位/ニッソーカントリークラブ / 255 ● 26位/八王子カントリークラブ / 257 ● 27位/嵐山カントリークラブ / 260 ● 28位/レーサムゴルフ&スパリゾート / 261 ● 29位/セントラルゴルフクラブ / 261 ● 30位/青梅ゴルフ倶楽部 / 263 ● 31位/都留カントリー倶楽部 / 263 ● 32位/桜ゴルフ倶楽部 / 264 ● 33位/江戸崎カントリー倶楽部 / 272 ● 34位/メイプルポイントゴルフクラブ / 282



成田東CCの田中選手は1週間前の予定だった競技は順延が決まると、荒天をものともせずにそのままトンボ帰りの。勤務地が沖縄で休暇もままならないそう。そして今回、また台風接近の中を往復している。また平塚富士見CCでプレーが続いていた頃、相模湾上空を飛ぶ飛行機の右側座席から、地上の仲間にエールを送っていたのかもしれない。



立った。そんな中、2打差で優勝を競った鹿沼CCと成田東CCは、予選競技も決勝競技も、まったくメンバーを変えていない。鹿沼CCの北原選手は「年間8回ある倶楽部内の選考会の成績次第ですが、女子倶楽部対抗への出場は公式競技の出場よりも難しいはずです」とのこと。



FAIRWAY COLLECTION 2016 Summer

注・数字は決勝競技の順位



決勝進出倶楽部

参加倶楽部数17 / 通過倶楽部数3



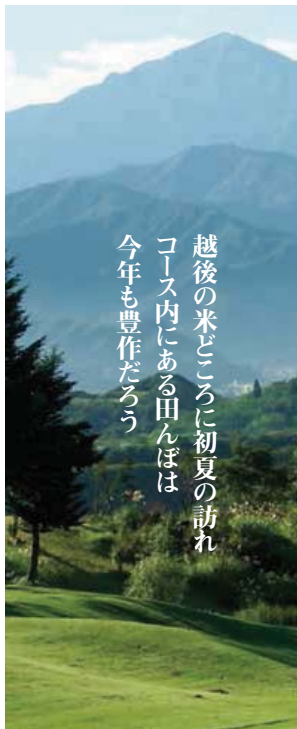
1 位 新津カントリークラブ / 323ストローク



2 位 紫雲ゴルフ倶楽部 / 325ストローク



3 位 湯田上カントリークラブ / 327ストローク



越後の米どころに初夏の訪れ
コース内にある田んぼは
今年も豊作だろう



ベストスコア賞



田村選手



齋藤大会長

地元、越後のシタケとアスパラ焼きの“おもてなし”が好評。



開催倶楽部、越後GCの代表選手。

る際には喜びの歓声やため息が飛び交い、盛り上がりは最高潮に達しました。
新潟県女子チームの女子倶楽部対抗への参加は今年で7回目ですが、県内での対抗戦は22回の実績があります。今回の成績で決勝進出された上位3チームは出場参加回数を積み重ねること、より強固となったチームワークの勝利であると感じました。決勝競技には思う存分戦って、悔いのない試合をお祈りいたします。なお当倶楽部チームは地元開催のプレッシャーもあり、残念ながら第8位の成績でありました。
最後になりましたが、木村競技担当委員長、板橋競技担当副委員長をはじめ委員の皆様方、各ゴルフ場の関係者の絶大なるご尽力と、選手の皆様方の全力プレーにより競技会が無事に終了しました。越後GCスタッフ一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
(越後ゴルフ倶楽部支配人・山田正衛)

新潟
会場予選

越後ゴルフ倶楽部

5157yards・Par72

暖冬でコース管理は昼夜兼行で

越後ゴルフ倶楽部では、昨年の男子倶楽部対抗新潟第1会場予選競技に続き、関東女子倶楽部対抗新潟会場予選競技を開催させていただきました。
本年は天候状況が昨年と真逆の暖冬、小雪により当倶楽部開場23年間で、もっとも早い開幕でした。(昨年は5月3日オープン)5月から6月にかけて晴天続きで、フェアウェイやグリーンの管理が大変の状態の中、コース課スタッフは昼夜にわたり懸命な作業を行い、できる限りのベストなコンディションで本競技を迎えることができました。
当日の天気具合は良い予報ではなかったのですが、県内17倶楽部85名の選手による熱気に押され、ほぼ曇りのまま気温23度の中、競技は行われました。
スターティングホールは倶楽部対抗独特の緊張感のある中で、仲間の熱い声援を受けてのティーオフでありました。ハフターンの際には、越後のおもてなし、地元名産のシタケとアスパラ焼きを選手、委員の皆様、応援団の方々に提供し好評でありました。
競技がバック9へ進むにつれ、各倶楽部の声援と熱気はさらに大きくなり、またスコアボードに選手の数値が記され

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数12 / 通過倶楽部数2



1位 穂高カントリークラブ / 315ストローク



2位 長野カントリークラブ / 327ストローク



豊科CC
吉元貴徳グリーンキーパー

天候に恵まれ完璧な整備

競技当日はこれ以上望めないほどの好天で、選手の皆様もご満足されたことでしょう。コース整備は1か月前からはじめ、芝も順調に立ち上がりました。キーパーとしては迷いなく、いつもよりさらに丁寧に日常業務を進めました。当コースはラフが元気(タフ)と定評があり、これもプレーの楽しみになっております。水の管理は神経を使います。ため池では不足しがちなのでグリーンには水道水、つまり生活用の水を撒くのですから賢沢です。



蕎麦処、安曇野にあつて
豊科CCの「手打ち田舎そば」は
毎朝打ちたて



横井選手



左から。宮坂大会会長、豊科CCの
斉藤社長。



開催倶楽部、豊科CCの代表選手と関係者。



しました。
最終ホール
ではチームメ
イトを迎える
各倶楽部関係
者や大勢のガ
ヤラリーが見
守る中、最後
の1打にかけ
る応援団の歓
声が響き、ス
コアボードに
成績が記入さ
れるたび表
彰式では木村
競技担当委員
長から成績が
発表されると
、会場は歓声
と拍手で包ま
れました。結
果、穂高カ
ントリークラブ
が第1位通過、
長野カントリー
クラブが2位で
決勝競技進出
を決めました
。決勝競技で
のご活躍とご
健闘をお祈り
いたします。



次回開催コースで三井の
森蓼科ゴルフ倶楽部の、唐
澤支配人よりご挨拶をいた
だき閉会となりました。競
技開催にあたり、宮坂大会
会長、木村競技担当委員長
をはじめ競技委員、運営委
員の皆様、参加倶楽部の多
くの方々からのご協力をい
ただきまして、無事終了で
きましたことをより感謝
申し上げます。
(豊科カントリー倶楽部
支配人・奥村恒夫)

ました。競技当日は早朝より選手や各
倶楽部関係者の方々がご越しになられ、
女性ならではの華やかなにぎわいをみ
せておりました。
昨年に続き12倶楽部の総勢72名で実
施されました。当日は朝から風もなく
晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和とな
りました。素晴らしいコースコンディシ
ョンのもと、決勝進出2倶
楽部を目指し
て選手は緊張
の中、競技委
員のコールの
もと、8時に
スタートいた



ウェルカム「竹の子汁」のサービスで気合が入る。

長野
会場予選

豊科カントリー倶楽部

5808yards・Par72

安曇野を眼下に一望できるロケーション

安曇野は田植えも終
わり、緑広がる田園風
景と北アルプスを望み
ながら、平成28年6月
3日(金)、関東女子倶
楽部対抗長野会場予選
競技が、当豊科カント
リー倶楽部で開催され
ました。
当倶楽部は平成元年の
開場コースで、KG A
主催競技は今回が4回
目となります。
選手の皆様が充分実
力を発揮できるよう、
そして気持ちよくプ
レーをしていただける
よう、コース整備をは
じめ各部署で心を込め
て準備を重ねてまいり
ました。競技当日は早朝より選手や各
倶楽部関係者の方々がご越しになられ、
女性ならではの華やかなにぎわいをみ
せておりました。
昨年に続き12倶楽部の総勢72名で実
施されました。当日は朝から風もなく
晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和とな
りました。素晴らしいコースコンディシ
ョンのもと、決勝進出2倶
楽部を目指し
て選手は緊張
の中、競技委
員のコールの
もと、8時に
スタートいた

決勝進出倶楽部

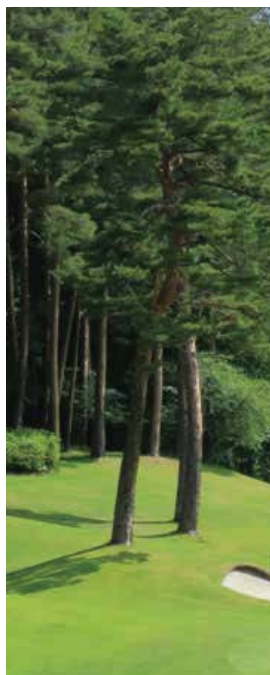
参加倶楽部数10 / 通過倶楽部数2



1位 メイプルポイントゴルフクラブ / 344ストローク



2位 都留カントリー倶楽部 / 344ストローク



大森林と富士の絶景
時にインターバルを歩いてみると
ゴルフを忘れて緑の別世界への誘い



開催倶楽部、河口湖CCの代表選手と関係者。



終日快晴の夕方、再会を約束してお見送り。



熱戦の結果はメイプルポイントゴルフクラブの優勝。チームの平均ストロークは86打と、当コースの難しさを象徴するような内容で終了いたしました。表彰式のパーティーでは優勝チームキャプテンの「選手全員で10回以上練習ラウンドに来て、戦略を立てられた」とのスピーチが大変印象的でした。本競技の開催により当倶楽部の従業員もいろいろな経験を得、多くを学ばせていただき、今後の倶楽部競技や営業面に活かしてまいりたいと思います。盛り上げていただいた参加選手・関係者の皆様には、本当に感謝しております。ありがとうございました。（河口湖カントリークラブ支配人・渡邊有二）

注・コース設計は「光と影の魔術師」と言われるロバート・ボン・ヘギー氏。



山梨
会場予選

河口湖カントリークラブ 西・東コース

5627yards・Par72

富士山の麓、難易度の高いコース

手がプロの中でも4名という、難易度の高さに話題になりました。競技当日、コースコンデিশョンやルール上の変更は特段なく、午前8時から西コース・東コースに分かれ選手60名がスタートしました。応援するギャラリーもスタートホールに集まり、声援を送っていました。進行は順調でしたが、ホールアウトした選手からは「コースの術中にはまり、実力を発揮できなかった」という声も多く聞かれました。

6月10日（金）、富士山に農鳥が現れる入梅の時期、心配されていた天気も嘘のように好天に恵まれ、関東女子倶楽部対抗山梨会場予選競技が無事終了することができました。関東ゴルフ連盟の競技委員の皆様をはじめ、開催までご指導いただいた関係者の方々に厚く御礼申し上げます。今回は昭和54年に「レディーボーデンカップ」が行われた西コース、東コースを使用しました。グリーン廻りにバンカーを数多く配置し、小さくアンジュレーションのあるグリーンは当時の選手を悩ませ、4回の開催のうちアンダーバーで終了した選手がプロの中でも4名という、難易度の高さに話題になりました。

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数15 / 通過倶楽部数3



1 位 レーサムゴルフ&スパリゾート / 320ストローク



2 位 赤城ゴルフ倶楽部 / 323ストローク



3 位 白水ゴルフ倶楽部 / 323ストローク



（レーサムゴルフ&スパリゾート支配人・佐藤始）

に接戦となり白熱した競技となりました。今回は開催コースのプレッシャーの中、当倶楽部が初の優勝をできましたことを嬉しく思っております。

無事競技が終了できましたことは、選手の皆様はもとより参加倶楽部の関係者の皆様、また競技委員、運営委員の皆様のおかげであると感謝いたしております。またこのような会場に選んでいただけるように精進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



モダンなクラブハウスのガラス壁に設置されたスコアボード。

フラットな地形ながら
微妙なうねりが縦横に流れ
ゲームに不確定要素をプラスする



群馬 会場予選

レーサムゴルフ&スパリゾート

5429yards・Par72

ユニフォームの花園で決勝進出を巡り熾烈な闘い

平成22年に男子倶楽部対抗群馬会場予選を行って以来、6年ぶりのKGAの競技会場となりました。

女子の競技が決定してからは選手をお迎えするにあたり、グリーン、フェアウェイなどをベストコンディションに保てるよう念入りに準備をまいりました。

当日は当初、雨予報でしたので心配しておりましたが幸いその予報は外れ、天候に恵まれた。選手の皆様からはコースの状態にお褒めのお言葉をいただき、スタッフ一同、胸の熱くなる思いを感じました。

女子のチームは練習ラウンドの際からチームのユニフォームでプレーをしたり、プレー前やプレー後にチームミーティングを行うなど、非常に熱心な倶楽部が多く、競技を通してチームプレーの重要性を改めて感じました。

少し残念だったのは、昨年より2チーム減で15チームの大会となり、応援の皆様も少なく感じたことです。しかしプレーでは2位から4位までが同スコアとなり、5番目の選手の成績で決勝進出の3位までが決定するなど、非常

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数24 / 通過倶楽部数4



1位 鹿沼カントリー倶楽部 / 307ストローク



2位 東松苑ゴルフ倶楽部 / 329ストローク



3位 ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン / 332ストローク



4位 芳賀カントリークラブ / 334ストローク



那須小川GC
加藤貴司グリーンキーパー

コース管理の基準は全体の美観

KGA競技担当委員長様の指示で、グリーンスピードは9.6フィートに抑えました。当コースのグリーンは傾斜が強く、2段グリーンも多くあります。ペント芝のワングリーンですが、カッパが切れるのは全体の半分か、3分の1程度でしょう。管理スタッフは競技開催に慣れています。競技での選手の緊張が少しでも和らげばと、コースの美観維持には特に気を使っております。開場して47年が経ち、植栽の剪定が課題です。



MEMO 刈り高・グリーン3.8ミリ(スティンブーマーは9.6フィート)・カラー8ミリ・ティー10ミリ・フェアウェイ15ミリ・ファーストカット30ミリ・ラフ55ミリ

南那須の丘陵地の 適度な起伏は 立体的なイメージで攻略



バンカーの砂は白竜産の白砂。

することについては、昨年春から準備を開始してきました。練習場に設置したカラフルなクラブ立ても社員の手作り。競技当日は女子選手たちのカラフルなユニフォームなども相まって、とても華やかで高揚感のある雰囲気醸成できたものと感じています。駐車場やクラブハウス内の表彰式についても、社員を配置して気を配っております。幸いにして元々36ホールを有していたこともあり、余裕をもってレイアウトし、当日の運用を行うことができました。

競技については最後まで各倶楽部とも全力を出しあい、熾烈な上位(入賞)争いが繰り広げられました。最終的には4倶楽部が入賞となり、幕を閉じました。4倶楽部の決勝戦での健闘をお祈りしております。(那須小川ゴルフクラブ総務企画部長・泉津玖磨)



芝打席の練習場、応援団席と設定の妙を發揮。



開催倶楽部、那須小川GCの代表選手と関係者。

栃木
会場予選

那須小川ゴルフクラブ

5655yards・Par72

プレーヤー・ファースト(選手優先)で対応

競技当日に近づくにつれ、それまで発表されていた天気予報は少しずつ改善し、前夜に雨は降ったものの競技当日は完全に雨は上がりませんでした。まだ多少雲は残っておりましたが、時々晴れ間が差すような絶好の競技日和となり、今年の栃木会場予選はスタートいたしました。

なお当日9時を過ぎた時点での気温は25度、湿度57%。コースセティングはメモのとおりにしました。幸いにも好天に助けられ刈り込みなどの作業に支障は出ませんでした。グリーン乾燥のケアについてはかなり神経を使ってきました。当該競技開催に向け、参画する選手の皆様方へできるだけ気持ちよくプレーしていただくとともに、主催者であるKGAの期待に応えるべく、社員ひとり一人が愚直に準備を進めてきました。

まずは景観と砂の打感を向上させたい!という目的で、白い白竜産のバンカー砂を導入しました。また芝から打つことのできる練習場(ドライビングレンジ)を提供すること、ならびに練習コース(フラススリ)の一部を応援団席として活用



スタッフ手製のクラブ立て。



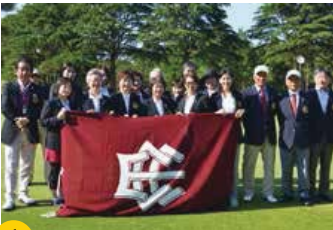
北原選手



左から。篠崎勝宏大会会長、那須小川GCの篠崎暢宏理事長。

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数22 / 通過倶楽部数4



1 位 江戸崎カントリー倶楽部 / 321ストローク



2 位 扶桑カントリー倶楽部 / 323ストローク



3 位 桜ゴルフ倶楽部 / 331ストローク



4 位 セントラルゴルフクラブ / 334ストローク



ベストスコア賞



左から。沓澤選手、塚原選手。



上から。安蔵大
会会長、江戸崎
CCの川村社長。



GK
レポート

江戸崎CC
宇都木修一グリーンキーパー



自然相手は毎日が勉強

2グリーン1面をニューベント芝(007とタイ
イのミックス)に切り替えて2年めになります。
お客様の評価は「速い、転がりがいい」と好評
です。ただ私たちは芝の密度や発色なども重視し、今はデータを取
集中です。気象データは完備していますが、江戸崎・稲敷は霞ヶ浦
の半分程度と、降雨量が少ないのです。自然が相手ですから、毎日
が勉強です。

広く長いフェアウェイには
微妙なアンジュレーションがあり
技術と体力が要求される



位4チームが決勝
進出を果たしまし
た。開催コース
である江戸崎チ
ームの選手はプレッ
シャーの中、日頃
の練習を存分に発
揮し、見事に優勝
の栄冠を手につくことができました。
各チームともに決勝でのご健闘を願っ
ております。表彰式も和気あいあいの
中、成績発表の際には歓声が上がるな
ど、大いに盛り上がりを見せ無事競技
を終了することができました。
本競技の開催にあたりましては、安
蔵大会会長、原田競技担当委員長をは
じめとする関東ゴルフ連盟の方々、ま
た当倶楽部競技委員および参加倶楽部
関係者の皆様方のご指導とご協力に深
く感謝し、心より御礼申し上げます。
(江戸崎カントリー倶楽部業務部長・
木内哲夫)



江戸崎CC会員の応援。



茨城
会場 予選

江戸崎カントリー倶楽部 東コース
5715 yard par 72
新ベントグリーンでの初の公式競技は大盛況！

6月3日(金)、朝から雲一つなく晴
れわたった青空のもと、平成28年度関
東女子倶楽部対抗茨城会場予選競技が
スタートしました。幸い最終組がホー
ルアウトするまで天候が変わることな
く競技が終了できましたこと、大変良
かったと思っています。
当倶楽部での関東倶楽部対抗競技開
催は今回で3回目となります。当倶楽
部は一昨年、開場50周年記念事業とし
て、グリーンを改造をいたしました。
それまでの東コース高麗グリーンをベ
ントグリーン化し、昨年5月より使用
し丸1年が経過しております。
今回の競技で使用している新グリー
ンの芝種は「007」と「タイ」の、
混合種を採用しています。当日のグリー
ンは刈り高3・4ミリ、ステインプメ
ター10フィートとまずまずのコンデ
ィションに仕上げる事ができました。
茨城会場予選競技参加22倶楽部代表
の選手は、皆同様に緊張感を持ちアウ
ト・インからスタートしていきまし
た。各スタートホールでは、各倶楽部の応
援団が選手に激励の言葉をかけ、送り
出していました。
競技中はギャラリーのコース内立ち
入りができませんでしたので、応援団
も各選手のスコアがわからずハーフ終
了の9番、18番ホールのグリーン周り
には、大勢のギャラリーの応援が輪に



なっていました。
ハーフ終了の選手に駆け寄り、ねぎ
らいの声をかけながら各倶楽部の昼食
スペースまで案内し談笑する光景、昼
食後のスタート時に「頑張つてね」と
送り出し、次にはホールアウト後のス
コアボードの前に集まり、予選通過の
成績を心配して「喜一憂する姿は、毎
年の倶楽部対抗の光景でした。
熱戦が終わり江戸崎カントリー倶楽
部、扶桑カントリー倶楽部、桜ゴル
フ倶楽部、セントラルゴルフクラブの上

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数24 / 通過倶楽部数4



1 位 浦和ゴルフ倶楽部 / 318ストローク



2 位 石坂ゴルフ倶楽部 / 321ストローク



3 位 嵐山カントリークラブ / 323ストローク



4 位 岡部チサンカントリークラブ / 324ストローク

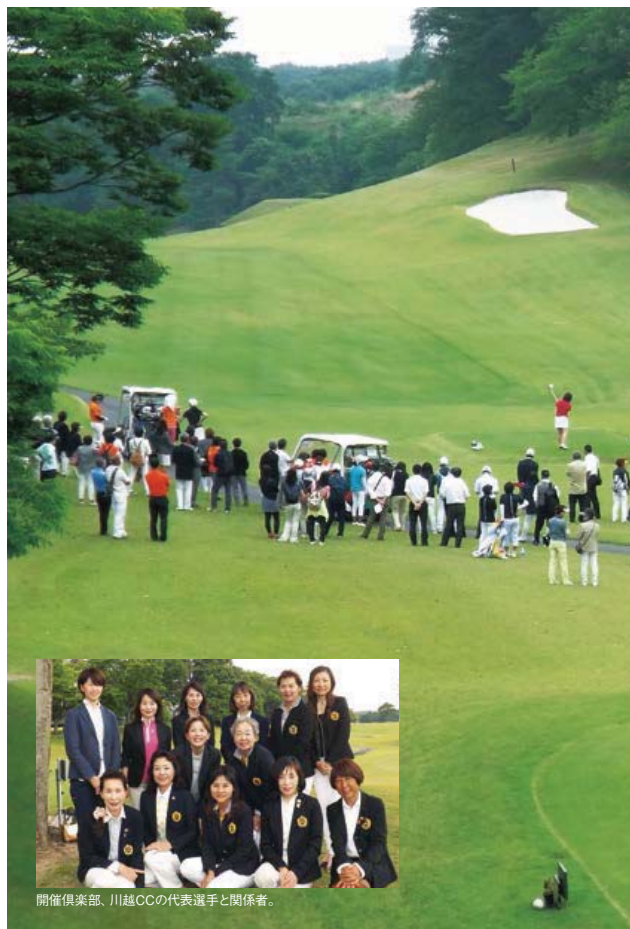


ベストスコア賞



川森選手

成28年度埼玉会場予選の開催
コースとしてのお礼の言葉と
させていただきます。
(川越カントリークラブ支配
人・瀬瀬浩充)



開催倶楽部、川越CCの代表選手と関係者。



左から。
吉田大会会長、川越CCの植野理事長と井山競技委員長。



マスター室前に設置したスコアボード
前になり、緊張感から解放された笑
顔の選手や、今回は実力が発揮できず
悔しい表情を浮かべていた選手ら、今
年の女子倶楽部対抗は様々な表情を映
し出し、フィナーレを迎えました。

素晴らしいスコアで優勝した浦和ゴ
ルフ倶楽部をはじめ、決勝に進出され
た4倶楽部の選手そして応援団の皆
様、本当におめでとうございます。そ
して今回参加された全選手、スタッフ
の皆様、本当にお疲れ様でした。

最後になりますが、今回競技を開催
するにあたり当倶楽部のスタッフはも
ちろん、フォアキャディーなどのお手伝
いをしていただいた会員の皆様や、関
東ゴルフ連盟スタッフの皆様のお力添え
があり、無事競技を終了することがで
きましたこと、厚く御礼申し上げます。

女子倶楽部対抗を通じて女性ゴル
ファーがさらに増え、今後、ゴルフ業界
が盛り上がることを願い、平



池越えの西コース
Y字ルートの中コース
和風の美に溢れた27ホール

埼玉
会場予選

川越カントリークラブ 中・西コース
5494yard spar 72
小さな砲台グリーン 攻略にはチームの情報収集も重要



ハーフを終えた選手たちを応援団の
方々が取り囲み、笑顔で迎える姿は倶
楽部対抗ならではのチーム戦でありま
す。レストラン内に設定したギャラリー
プラザでは昼食時、各倶楽部は最高潮
の盛り上がりを見せておりました。後
半戦、次々に選手が上がりつくと、今
度はメイン舞台がギャラリープラザから

女性ならではの艶やかなウェアに包
まれ、選手たちは元氣よくスタートし、
沢山のギャラリーも大きな声援を送りな
がら、選手と一緒に盛り上がりにつ
いていました。

一番気になる天候は1日中曇りで
したが、気温が日中26度と最高のプ
レイド和となりました。グリーンは約
10フィートの仕上げで、コース全般をグ
リーンキーパーをはじめとする管理ス
タッフが、最高のコースコンディション
に仕上げ、7時30分にはいよいよ戦いの
火蓋が切つて落とされました。

開場当時のコース設定を生かし、
グリーンは砲台やや小さめのため、ア
プローチが重要なカギを握るコースと
なっております。昨年の男子同様、当
日は中コースをアウトコースとし、西
コースをインコースとして競技を開催
いたしました。

昭和38年に開場した当倶楽部は、今
年で53年目を迎えました。昨年の男子
倶楽部対抗埼玉第2会場予選に続き、
今年は女子の埼玉会場予選となりました。
当倶楽部は中村寅吉プロ設計の
コースとして、樋口久子氏(現LPGA
相談役)を、日本女子プロ第1号者
として輩出した倶楽部でもあります。

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数19 / 通過倶楽部数3



1位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 313ストローク



2位 京カントリークラブ / 320ストローク



3位 総武カントリークラブ / 323ストローク



ベストスコア賞



吉田選手



上から。平岩大会会長、
総武CCの白井キャプテン。



数々の名勝負の舞台
21世紀型攻略ルートには
今昔の感あり



ホールアウトした選手を囲み悲喜こもごも。



テント村では華やかな笑顔の交歓。



千葉
第1会場予選

総武カントリークラブ 総武コース西・中コース 5929 yards par 72 穏やかな競技日とでレインウェアの定番なし

平成28年5月31日(火)に関東女子倶楽部対抗千葉第1会場予選競技が、総武カントリークラブ 総武コースにおいて、19倶楽部114名の参加で開催されました。

当倶楽部は過去に男子プロの大会や、関東ゴルフ連盟の主催競技(倶楽部対抗予選・決勝も開催)など、その他数多くの競技を開催していましたが、今回、関東女子倶楽部対抗をはじめ開催いたしました。

開催に向け選手の方々には満足なプレーをしていただけるようにと、コース整備を中心に準備を進めてまいりました。キャプテン会議の席ではローカルルールの中に、3か所のプレー禁止の修理地がありましたが、その修理地もなくなら競技委員長にも報告をし、確認していただきました。

また前日は小雨の降る中、各倶楽部応援者のテント村としての設営が、クラブハウス前の駐車場で行われました。夕方までには成績ボードの設営、参加倶楽部よりお借りしました倶楽部旗が、19本と見事に揃いました。

当日は心配されていた天気も曇りで、気温も24度と競技日和となり午前7時30分、競技委員の呼び出しの声で選手たちは西コース(アウト)と中コース(イン)からスタートして行きました。各組の選手が呼ばれるたびに大きな拍

手や声援があり、プロさながらの雰囲気となります。

ハーフが終了し駐車場に設営いたしましたテント村には、各倶楽部色とりどりのお弁当の数々が並んで、選手をはじめ応援の方々が一時的な時間を過ごし、選手は応援の方より声援を受けながら、折り返し後半へとコースに向かっておりました。

後半、選手たちがホールアウトしスコアボードにスコアが書きはじられ、あたりには選手や応援団の方々が集まり、自倶楽部のスコアや、他倶楽部のスコアを気にする人達で少しづつ人数が増えます。

歓声のため息が聞こえる中、4番目の選手、5番目の選手と最後の選手が上がるまで、上位の成績がわからない状態であった、千葉第1会場の予選競技となりました。

最後に、競技開催にご尽力いただきました岩田競技担当委員長をはじめ、関東ゴルフ連盟競技委員の皆様には、下見から予選競技当日までご配慮をいただき、また各倶楽部出場選手および関係者の方々のご協力により、すべてがスムーズに行われ、無事競技が終了できましたことを心から感謝申し上げます。

(総武カントリークラブフロントマネージャー・坂巻晃章)

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数18 / 通過倶楽部数3



1位 富里ゴルフ倶楽部 / 326ストローク



2位 成田東カントリークラブ / 328ストローク



3位 木更津ゴルフクラブ / 330ストローク



篠塚選手



左から、
相馬大会会長、鶴舞CCの熊沢(房総開発)
社長。

井上誠一氏設計の
ガードバンカーの配置は
絶妙にして高難度



開催倶楽部、鶴舞
CCの代表選手。

鶴舞CC選手の
ショット。左から、
小川選手、長崎選手、
上條選手、小島選手、
吉田選手。



3位に木更津ゴルフクラブとなり3
チームが決勝へと駒を進めました。
強いチームは天候に関係なく強いと
感じました。当倶楽部は残念ながら予
選通過は叶いませんでした。しかし当
倶楽部選手団も、来年に向けてに始
動しております。来年こそはと倶楽部
側も万全のサポートを行ってまいりま
す。

結びとはなりますが、悪天候の中、
スタッフ一同一致団結し競技を無事に
終えることができたことは、今後の自
信に繋がりました。関東ゴルフ連盟競
技委員をはじめ、競技に携わり支えて
下さった皆様に心よりお礼申し上げます。
(鶴舞カントリー倶楽部キャディ
マスター・菊田哲治)

千葉
第2会場予選

鶴舞カントリー倶楽部 西コース

5595yards・Par72

強い風雨の中、強豪倶楽部が日頃の実力を発揮

平成28年5月30日
(月)に関東女子倶楽
部対抗千葉第2会場
予選競技が、西コース
OLDグリーンにて参
加18倶楽部、108名
の選手を迎え開催さ
れました。

当倶楽部は井上誠
一氏設計により昭和46
年に開場し、45周年と
なりました。昨年まで
ゴルフデンウィークに
『LPGAサイバーエー
ジェントレディーズ』を
6年間開催しており、
その同じ舞台でこの度
の関東女子倶楽部対抗
千葉第2会場予選競技
が開催されたのです。

当日は風雨に見舞わ
れ、選手の皆様は大変
攻略に苦労されており
ました。応援に来場さ
れた各倶楽部の皆様も足元の悪い中、
一生懸命に鼓舞されていました。朝早
く天候も悪い中、選手の皆様のために、
軽食や飲み物をご用意され、選手の皆
様も大変励まされたことでしょう。

本競技は18倶楽部中、3倶楽部の予
選通過という熾烈なものでした。その
中でもライバルチーム同士である富里
ゴルフ倶楽部、成田東カントリークラ
ブの戦いは、本当に手に汗を握るもの
でした。結果2打差にて富里GCの優
勝となりました。2位に成田東CC、

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数12 / 通過倶楽部数2



1 位 八王子カントリークラブ / 339ストローク



2 位 青梅ゴルフ倶楽部 / 341ストローク



多摩CC
安西幸広グリーンキーパー

この日に備え1年前から準備しました

美しい景観と、年間を通じて硬く速く、スムーズな転がりのグリーンを目標に日々努力しています。今回の女子倶楽部対抗に向けて昨年からより美しいコースを見せるため、ファーストカットをつけてフェアウェイ、ラフの境界線も美しく見せることができました。排水不良箇所の改善やレディースティーの増設、バンカーの排水改善、枯松の伐採等を行ってきました。春になりフェアウェイ、ラフの芽吹きが悪い部分がありましたが、その後の天候にも恵まれ順調に管理することができました。年間を通じて硬く、速く、スムーズな転がりのグリーンを提供することを目標にしています。

今回の競技でもグリーンに関しては特別なことはしていませんが、ステイプ10.5フィート、コンパクション23と、満足できるコンディションに仕上がったと思います。



多摩CC選手のショット。左から。橋本裕美子選手、伊藤彩子選手、高崎陽子選手、伊原節子選手、菊田真澄選手。



清水選手



佐藤大会会長

アウト、インスタートが見渡せる絶好のロケーション。



多摩丘陵の自然の起伏を
プレーの奥深さとして
見事に取り入れた

東京
会場予選

多摩カントリークラブ

5851yards・Par72

絶好のゴルフ日和に好ゲームを展開

開催倶楽部、多摩CCの代表選手と関係者。

平成28年度関東女子倶楽部対抗東京会場予選は、6月6日(月)に多摩カントリークラブで行われました。関東地方の梅雨入りは前日の6月5日、天候が心配されましたが、選手への期待に応えて当日は、うす曇りで涼しく、絶好のゴルフ日和となりました。

またコース課を中心に1年前からコースコンディショニングの計画を立て、芝生の生えはじめの4月からは、入念なコースおよびグリーンチェック、そして関東ゴルフ連盟のご指導のもと、コース整備等を行なうてまいりました。

多摩CCはスクーター1番と10番が隣接しているのが特長で、ギャラリの皆様はほとんど同時に全員のティショットを交互に見ることができました。

今年の優勝チームは八王子カントリークラブで339ストローク。2位は青梅ゴルフ倶楽部で341ストローク。この2チームが8月に行われる決勝競技に進出することになりました。ベストスコア賞は八王子CCの清水かおり選手の79ストロークでした。また表彰式においては優勝の八王子CCの遠藤節子キヤプテンより、嬉しさを全面に表したスピーチで会場の雰囲気盛り上げていただきました。

開催にあたりご尽力くださった関東ゴルフ連盟競技関係者の皆様をはじめ、関係するすべての皆様に感謝申し上げます。(多摩カントリークラブ支配人・久保雅司)



決勝進出倶楽部

参加倶楽部数18 / 通過倶楽部数3



1位 箱根カントリー倶楽部 / 315ストローク



2位 相模カンツリー倶楽部 / 324ストローク



3位 大相模カントリークラブ / 329ストローク



左から。
箱根CCの岩崎社長と許斐女子選手団キャプテン。



箱根仙石原に開場60周年
自然の小川が流れ
ラフには高原の野草



彰式では決勝進出3倶楽部の選手に対し、他倶楽部の分まで存分に力を発揮するよう、多くの方々よりあなたたいお言葉を頂戴いたしました。大きなトラブルもなく無事に、開催倶楽部の役割りを果たせたことは、携わって下さった高橋大会会長、加藤競技担当委員長、競技委員の方々、各倶楽部の選手および関係者の皆様にはご指導、ご協力を賜り、盛会のうちに終了することができました。心より感謝し御礼申し上げます。
(箱根カントリー倶楽部支配人・勝俣淳一)



結果は開催倶楽部である箱根CCが、ホストコースのプレッシャーを感じさせず優勝することができました。表

締まる思いで万全の準備を進めてまいり開催日を迎えました。競技事前打ち合せの際に、スループレーとの競技担当委員長の指示のもと、予定どおりスタート時刻は8時、競技参加者は90名、天候・晴れ、微風、最高気温21度・平均16度と、箱根仙石原高原での初夏の風を体感しながらの熱い戦いとなりました。

神奈川
会場予選

箱根カントリー倶楽部

5713yards・Par73

地元・箱根の赤ボロシャツ勢がコースを躍動

平成28年度関東女子倶楽部対抗神奈川会場予選競技が当倶楽部にて開催され、決勝競技開催倶楽部である平塚富士見カントリークラブを除く、前年同様の参加18倶楽部にて行われました。

箱根カントリー倶楽部は赤星四郎氏の設計により、昭和30年7月に18ホールが正式開場しました。おかげさまで昨年60周年を迎えた歴史と伝統のある、自然の地形を生かした丘陵コースでございます。

本競技会場に選ばれ、競技担当者はじめ社員一同競技会の成功を目標に、身が引き

決勝進出倶楽部

参加倶楽部数9／通過倶楽部数2



1位 沼津ゴルフクラブ／321ストローク



2位 浜松シーサイドゴルフクラブ／328ストローク



左から。福田大会会長、KGA児島競技担当委員長、浜松シーサイドGCの戸上副理事長。



浜松シーサイドGC
加藤広俊グリーンキーパー

海岸の松林の印象を大切に

男子に続いて女子競技の開催でしたが、今年は空梅雨に適度な雨と、天候に恵まれました。もともとコース内の大きな池(鰐島池)からの散水には困らないので、管理側としては何の問題ありませんでした。芝もハワイなどでは主流のティフトンをフェアウェイに、グリーンにはティフドアフをオーバーシードしています。常時、乗用カートでのFW走行が自慢です。新しいことへのチャレンジ、それがやり甲斐です。



シーサイドには陽光と
防風林の松が定番
「浜」と「松」そのものだ



ティーマークは
名物のメロン。



そして決勝競技へ。あるいは来年の予選突破を機して。

(浜松シーサイドゴルフクラブ理事・沖田見)

しました。両倶楽部の決勝競技でのご健闘をお祈り申し上げます。3位の東名カントリークラブと4位の裾野カンツリー倶楽部も、ワンストローク差という熱戦でした。ベストスコア賞は沼津GCの細野ハツ季選手(75)となりました。最後にりましたが、本競技の準備から競技当日にわたり関係者の方々にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

深いラフや難しいグリーンに悩まされ、一喜一憂しながら最終ホールを終えた選手に、応援のあたたかな拍手が送られました。終了後には当倶楽部に隣接する『スコッティ キャメロン ミュージアム & ギャラリー』を見学している選手や応援の人達が、大勢見られました。競技の結果、1位は沼津ゴルフクラブ(321)、2位は浜松シーサイドゴルフクラブ(328)となり予選を通過した。

静岡
会場予選

浜松シーサイドゴルフクラブ

5339yards・Par72

併設のミュージアムがギャラリーに人気

開東女子倶楽部対抗静岡会場予選競技が男子に引き続き、5月31日(火)に開催されました。開場50周年を迎えた浜松シーサイドゴルフクラブに、9倶楽部54名の選手と応援団が集結し、前日までの雨で心配された天候も朝から快晴のゴルフ日和となりました。女子ならではのカラフルなウェアで、華やかな競技となりました。練習グリーンでの入念なチェックを終え、スタートがはじまり倶楽部対抗独特な緊張感の中、最初は静かな応援も次第に拍手や声援が大きくなり、競技も盛り上がりつつまいりました。

Chip Shots

KGATピックス

「脚を出して踊る」のは定番のギャグです

かつて経験したことのない異常気象に襲われた、今年の関東倶楽部対抗決勝競技。選手もレイアウトエアでのプレーを想定してしまいが、長時



4位と大健闘の富士カントリー笠間倶楽部は地元・笠間稲荷の守り神のキツネがシンボルマークです。



間の中断の後は台風一過の爽やかさで再開されました。揃いのチームウェアで目立った倶楽部となると、まず昨年の優勝倶楽部、岡部チャンCCです。全員、紺のボロの下は白い半ズボンに白いハインソックス。関東グランドシニアゴルフ選手権の出場資格を満たす年齢の、小川キャブテンは反対しなかったのかと尋ねると「小川さんの発案ですよ。全員、半ズボンを着用すべし」と。

小田原GC松田コースは、ブロック大会を2年連続トップで通過した強豪。今年のユニフォームはデニム風のパンツに細身のボロ。「お腹を凹ませましたよ」と、うれしいダイエット効果もあったようです。



よく寝ていて赤ちゃんの顔が見えませんでした。



産まれる前からギャラリで応援？

2年前のこの競技の時、豊島夫人は確か「来月が臨月です」とのお応え。そのお嬢さんがギャラリーとして、今年は豊バ



豊島ファミリーに有望なゴルファー誕生？

内藤氣象予報官・登場！競技中の現場に安心感

関東倶楽部対抗決勝競技を開催の袖ヶ浦CCも、関東女子倶楽部対抗決勝競技会場の平塚富士見CCも、迷走台風に翻弄されました。袖ヶ浦CCでは前夜の豪雨でバンカーに水が溜まり、早朝から管理スタッフの皆様の



ポンプで排水。



奮闘で、ルール処置が可能なまでに修復されました。雷雲接近による避難も、事前の対応が素早く正確なので混乱が避けられます。緊急避難時のバニッシュは、正しい情報提供で軽減されるのです。競技中のKG A競技委員や広報委員はトランシーバを携行しています。大半はプレーの進行状況の、ほう・れん・そう。(報告・連絡・相談)ですが、時に内藤競技委員長の声で天気情報が入ります。今、上空を覆っている黒い雲は、雨雲でも雷雲でもありません。ご安心を」と、これは実に有効でした。

2回も貴重な体験自分では合格点です

平塚富士見CC・平塚コースの渡邊明グリーンキーパーは開口一番「予定した競技が台風で流れて、翌週の開催となりました。いい経験を2回もさせていただき、嬉しさも2倍です」と、好評裡に競技を終えての笑顔でした。

実際には、当初の競技予定日にコンディションをピークに設定し、その1週間後にまたコースを整備するのは容易ではなかったはず。

「その間、ラフの刈り込みが一部分だけで済まずに、50ミリにセッとしたのが実戦では70ミリに伸びてしまいました。選手の手皆さんは多少、難しく感じられたかもしれません」



平塚富士見CC・平塚コースの渡邊明グリーンキーパー。「晴れれば富士山の絶景です」



突撃、隣の昼ごはん愛情が隠し味です

前週に気合が入ったか、仕切り直しのこの日のギャラリーラザは、少し控えめのランチだったようです。各倶楽部の自慢料理を、右から順に拝見。

●平塚富士見CC。地元にし



ては素朴な煮物と果物がメインですが、さすが湘南の香りと味はどこかオシャレでした。●富里GC。手作り昼食のMVPに決定。ヘルシーな煮物やサラダが10数種類。他の倶楽部にも、おすそ分けしていました。

●総武CC。名物の「勝ち稲荷」をどうぞ。縁起のいい郷土料理で、味はとても美味な



from

Kanto Golf Association

真夏の暑さをものともしない熱き競技
『KGA杯ジュニアゴルフ大会』が開催されました

8月26日(金)、KGA杯ジュニアゴルフ大会の男子の部がカレドニアン・ゴルフクラブ(千葉県山武郡)で開催されました。参加選手は12歳～14歳の部42名、15歳～17歳の部の37名。15歳～17歳の部は鈴木辰海選手(私立拓殖大紅陵高2年)が71で優勝。12歳～14歳の部は田中雄貴選手(台東区立御徒町台東2年)が71で見事優勝しました。

女子の部は8月25日(木)、富里ゴルフ倶楽部(千葉県山武郡)にて開催されました。参加選手は12歳～14歳の部30名、15歳～17歳の部の34名。15歳～17歳の部は石川聖奈選手(私立拓殖大紅陵高1年)が72で優勝。12歳～14歳の部は吉澤柚月選手(私立麗澤中1年)が74で優勝でした。

このKGA杯ジュニアゴルフ大会は、昨年に続いて2回目の開催です。本大会は関東高等学校ゴルフ連盟と共催で、本年度の関東ジュニアゴルフ選手権の予選～決勝競技へ



男子の部が開催されたカレドニアン・ゴルフクラブ。

出場した、日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格者を除く選手によるレベルの高い競技です。



左から、15歳～17歳の部、優勝・鈴木辰海(私立拓殖大紅陵高2年) 71、2位・田辺隆一(私立駒場学園高2年) 74、3位・村岡侑成(私立埼玉栄高2年) 76。12歳～14歳の部、優勝・田中雄貴(台東区立御徒町台東2年) 71、2位・和田歩(私立杉並学院中3年) 75、3位・東城幸翼(富士川町立増穂中2年) 76。



左から、優勝・石川聖奈(私立拓殖大紅陵高1年) 72、2位・簡井美羽(私立駒場学園1年) 74、3位・星野杏奈(私立堀越高3年) 75。12歳～14歳の部、優勝・吉澤柚月(私立麗澤中1年) 74、2位・堀越心愛(行方市立麻生中3年) 74、3位・森田彩音(越谷市立光陽中1年) 75。

KGA GOLFERS' NEWS No.122

2016年9月30日発行
KGA GOLFERS' NEWS No.122
発行所/関東ゴルフ連盟
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号
銀座SCビル4階
TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008
ホームページ <http://www.kga.gr.jp>
発行人/高橋正孝 編集/広報委員会

編集
後記

本年度の男女倶楽部対抗競技は各地区予選、ブロック大会、決勝競技とも終了しました。前半は猛暑に見舞われ、最後の決勝大会は男女とも台風や雷雨に見舞われた大会となり、開催コース関係者には大変ご辛労をおかけしました。ご協力に感謝申し上げます。男子はチーム4名の成績となり、女子は予備日の開催となる初めての大会となりました。

本号発行に当たっては競技取材など、開催倶楽部様のご協力で多くの記事写真を掲載することが出来ました。毎年、倶楽部対抗戦は選手と応援の皆様が一体となって活躍する盛り上がり感動しています。来年は晴天の中で開催出来ることを祈念します。

(広報副委員長・塚越克一)

当倶楽部は栃木県芳賀郡市貝町の丘陵地に位置し、平成10年4月に「市貝カントリー倶楽部」として開場いたしました。平成17年6月に「スーパーゴルフカントリー倶楽部」としてグランドオープンいたしました。

コース設計は「水の魔術師」といわれる小林光明氏で、池と自然の持つ造形美で戦略性に富んだコース。全長7056ヤード、コース内は豊富な樹木でセパレートされ四季折々の表情を見せ、ビギナーから上級者まで満足いただけます。

8番ホール
ティーショットの池越えと、グリーン手前に左右4つの池を配した難易度ナンバーワンのホール。ティーショット、

心身のリフレッシュをお約束
遊んで食べて泊まって快適な1日を

スーパーゴルフカントリー倶楽部
コース設計・小林光明(7056Yards Par72)
Super Golf Country Club

〒321-3422
栃木県芳賀郡市貝町石下136-5
電話 ● 0282-68-2002
FAX ● 0285-68-3881
HP ● <http://www.supergolf-cc.com/>

開場 ● 2005年6月1日
理事長 ● 北村 守
支配人 ● 豊島都孝

レストランにおいてグループ会社であるニチニチ製菓の乳酸菌「F K I 23」で育てた「プロテサン和牛」の、健康で美味しいお肉の焼肉コースもご堪能いただけます。

また、ゴルフ場では日本で初めて「ドームハウス」を宿泊施設として建設。見た目も新鮮で体にもやさしい、画期的な宿泊施設です。素材は炭素と水素だけでできたポリエチレンで、シックハウス対策も万全です。ゆったり宿泊プレーが可能です。

この度、関東ゴルフ連盟に正会員として加盟させていただくこととなりました。お客様にこれ以上にご満足いただけますよう、スタッフ一同努めてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

セカンドともに非常にプレッシャーのかかるホール。

15番ホール
距離のあるパー5。グリーンまでは緩やかなS字カーブを描くホール。220ヤード先からは、左右に高低差のある2段フェアウェイ。グリーンは砲台の3段グリーンで、正確なショットが望まれるホール。

17番ホール
景観も美しいまっすぐなホール。距離は短めですがフェアウェイ左右にハザード、グリーン右サイドにバンカーがあり、バーディーも大叩きの危険性もあるホール。





関東女子倶楽部対抗 決勝競技出場倶楽部 ONE FOR ALL ALL FOR ONE 1 から 34 の順位は57ページ参照。

